

自主防災



▲避難所生活

〔自主防災新聞 第1号～第12号縮小版〕

1人ひとりがみな主役

自主防災

〈第1号〉

昭和63年(1988年)9月1日

編集・発行 静岡県自主防災組織活動推進委員会
発 行 所 〒420 静岡市道中町9番6号
静岡県地震対策課内推進委員会事務局
TEL 0542 212456

やはり来る東海地震

いざという時あわてないように



みんなしっかり!

炊き出しやバケツリレーなどの訓練は何より
大切。頭でなく体で覚えましょう。

主な内容

- ・各地の自主防災会 活動だより
- ・確かめよう わが家の安全性
- ・防災活動Q&A
- ・最近の地震活動状況

②面
③面
③面
④面

静岡興総務部防災局長
杉山 俊朗

「自主防の皆様方は、県下各地で目を見張るような活躍をしておられます。しかし、このような情報は皆様方には届きませんでした。今回はじめて『自主防災』という情報のやりとりの場ができたことを心から喜んでおります。どうか皆様方は読むだけでなく、投稿することによって、『自主防災』の舞台に参加されることをのぞみます。」

積極的参加を希望

「この新聞の発行を担う委員の面々は、いずれも活動歴が豊富だ。」

「地盤はいくら来るのか、何ではなく、いつ来るか、いかに備えるかが自主防災活動の原動力である。私たち八名の委員は組織の『先兵』として関係機関との連携を保ちながら防災情報の発行、情報の交換、講演講師の派遣などの充実に全力で防災体制の強化をめざして精進したいと願っています。」

「また、この防災新聞が県内自主防災活動の起爆剤となりますことを願ってご挨拶いたします。」

発刊によせて

去る六月六日静岡県自主防災組織活動推進委員会が発足し、県下で八名の皆さんが委員の委嘱をうけました。

昭和五十二年六月の「明日起きても不思議ではない」との東海地震説から十三年来、県民の地震意識



徳田 権作

静岡県自主防災組織
活動推進委員会委員長

万全の防災体制に

「地盤はいくら来るのか、何ではなく、いつ来るか、いかに備えるかが自主防災活動の原動力である。私たち八名の委員は組織の『先兵』として関係機関との連携を保ちながら防災情報の発行、情報の交換、講演講師の派遣などの充実に全力で防災体制の強化をめざして精進したいと願っています。」

「また、この防災新聞が県内自主防災活動の起爆剤となりますことを願ってご挨拶いたします。」

がんばってます!

西から東から 訓練の成果が

各地の活動だより

住民レベルで天災に対応

新居町自主防災会

自主防災会の組織化が進みましたが、まだこれだけでは十分ではありません。防災の基本は、各家庭で地震に對してどのように対応できるか、自分でできる事、やっておかねばならない事、防災はここから始まります。

確かに、行政による食糧備蓄、耐震工事、避難方法の確立も重要ですが、問題を大きく扱う行政の指導の中には、子供、人をどうす

るか、ということが出てこない。だから家庭の主婦の立場から防災を考えなくては、防災都市づくりは、ハード面とソフト面の絶え間ない努力の上に成り立つもので

す。行政に豊かな財政が備わっていればあるレベルにまでは達しますが、十分ではありません。地震の予知はできるかも知れませんが、止めることはできません。しか

行政に豊かな財政が備わっていればあるレベルにまでは達しますが、十分ではありません。地震の予知はできるかも知れませんが、止めることはできません。しか



とつても勉強になりました。清水市の丸町自主防災会の消火訓練

作文

防災訓練の体験

清水市立江尻小学校六年 村上 貴浩

七月五日の朝、二の丸町の防災訓練をやりました。ウーウーというサイレンの合図でマンションの大家ちとびなん場所の江尻幼稚園に行きました。みんなヘルメットをかぶったり肩から荷物を下けて、まるで本物の地しんが来たようだった。最初は、消火器の使い方の訓練

です。ほくにもできるかなと思いつつやりました。少し重かったけど白い粉がいきおいよく出て火が消えたのでほくほくしました。でも火に向かっていると少し勇気が

ドキしました。少しずつ怖れ出し、しん度士の時はユラユラ揺れる感じでもともちもちがよかったです。しん度5、6とだんだんゆれが強くなってガタガタと音が鳴りました。ほくは少しきんちようしました。最高のしん度7になると物につかまらなくては立っていられないほどでした。起しん車の体験ができてよかったです。本物の地しんの時あわてないで行動したいと思います。

し、被害も最小限に食い止めることは可能です。防災の日を前に、個人で、家庭で、あるいは地域で、防災について改めて考えてみてはどうかでしょう。

(会長 中嶋清治)

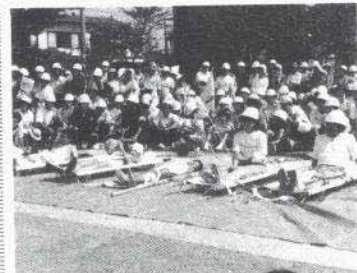


国民防災研修会で実践研修 一昨年7月、新居町で

隣の自主防災と手をつなごう

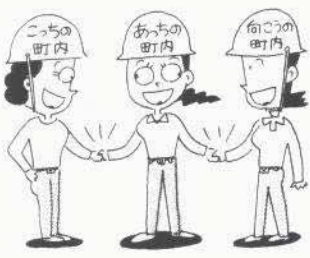
清水市船越南町自主防災会

狭い団地に都市化が進み、家は密着して建てられ道路は狭く細い路地裏が、溝ひとつが町内と町内との境界線となっています。こんな環境でありながら防災訓練はというと、自分の町内だけの単独型が目立ちます。



清水市船越南町防災会の三町合同訓練

このように都市型開発された街の中で、地震や災害が起ると



「自分のところの災害を隣の町内に与える」、「隣の町内の災害は自分のところにかかる」というありかたのない、災害の相互依存関係が生まれることは避けられない状態でありました。

東海地震から十一年、地震の被害から人命、財産を守るための防災訓練は自分の町内だけでなく、地域全体に視野を広めて行動する時が来ていると思います。

私のところでは過去に一回、隣接する三つの町内との合同防災訓練を実施しておりますが、今年十二月に行う地域防災訓練でも、これまで町内と連携した訓練計画を進めております。

向こう三軒両隣の考えを三向三つの町内、二向隣の町内に広め、互いに協力し合いながら訓練の場が触れ合いを高めておくことが災害の時には大きく役立つものと確信しております。

また、このような隣の町内、隣の自主防災との合同訓練の波紋が県内各市町村の中で広がっていく事を期待いたします。

(会長 梅垣卓司)

避難生活宿泊訓練を実施して

焼津市第十二自主防災会

日本海中部地震による津波襲撃時や、三原山噴火による集団避難生活などを見聞きし、当自主防では、泊二日の避難宿泊訓練を実施しました。

この訓練を実施し、いま一度検討しなければならぬ点や、計画としておこなわなければならない

点が数多く出ました。給食班は非常に忙しく、一日三回の炊き出しになると休息もとれないほどで、A、B二班は泊二日でも必要です。

学校のように三からでも外出できる宿泊地の外出者チェックは、必ずチェック所を通して行うことを徹底しなければ、常に宿泊者を把握することができません。

便所、手洗い、食器洗い場用に石けん、洗剤などを用意すべきです。

本部会議以外の連絡を伝える連絡係を本部におきたかった。

そのほか、給食後の食器洗いの順着、警備と不寝番、喫煙場所の徹底、生活時間帯の徹底、天吊問題、物資輸送問題など、実際に実施しなければ出てこない問題点を知ることができました。

(会長 大行勇輝)



天のなべ消火訓練の要領 清水市船越南町自主防災会

お金かけずに全員がやれる消火訓練の工夫

清水市船越東町自主防災会

家庭消火器でオイルパンを使うの消火訓練は、中身のつめ替えなどに相当の費用がかかります。で訓練会場で使用する消火器も本数の制約を受けます。実際に消火器を持って火を消す訓練のできる人は一部の人で、多くの参加者は見学だけで終わります。こんなことかたびたびでは、マタカの缶も出てきます。私たちの防災会では、こんな方法で消火訓練をしています。

ハンなどを保管しておき、この鍋を利用して消火訓練をします。消火方法でも、消火器でなく布で消す方法です。水をぬらした布は何回でも使えます。鍋の数も増やせば一度に多くの人ができて、交替してやれば参加者全員がやれます。

災害のときは全員が主役ですから訓練のときも全員参加でやっておいた方がいいと思います。費用はほとんどかかりません。身近に起こりうる火災消火だということだけで特に婦人には人気があります。

(副会長 羽根方男)

高層ビルでもとつてもいのが勉強

覚えておきたい防災知識

安全な我が家を確認しよう

必要は特に悪い地域の地盤



構造により強度まちまち
地震被害は、地震発生後も、被害の
ます。過去の多くの地震で、地盤の
悪い地域では家の倒壊による死
で、多くの人が亡くなっています。

予想される東海地震では、地盤の
悪い所では震度7で、一階以上の家
が倒壊するかもしれません。わが家
が、倒壊の恐れが極めて高いと耐震
診断の結果が出たら、地震の発生後

はもちろん、警戒中は避難場所から家
を離れて避難強要に任るなければな
りません。
地盤が良くても安心はできません
ん。構造や間取りによって、家の耐
震度はかなり違ってきます。わが家
の耐震診断を各自が行って、わが家
の安全性を自分自身で確かめてみま
しょう。各家庭や自主防災会は耐震
診断の結果が分からなくては、地震
に対する確たる防災計画も対策も立
てることができないと思います。わ
が家の耐震診断こそ防災対策の基本
だと思えます。

郡野市では、六十二年度より自治
体防災会館を中心として、全家庭
の耐震診断達成を防災対策の重要
項目として、診断指導と達成のため
に頑張っています。
(杉山 好)

人が倒れていたら… 応急手当できますか？

黙ってそっと通り過ぎ
る。いいえ、「あたりの人を
呼ぶ」、「救急車を呼ぶ」な



どか思いつくことでしょうか。
その前に、倒れている人の
傍らに寄り、「どうしましたか
? お名前は何ですか?」と声をかけ
て励ましながら、呼吸が楽に
できるようにして安全な所に
寝かせ、血を止め包帯をする
ことができれば、病人やケガ
人はどんなに力づけられ、う

救急法の講習を受けましょう

れしく思うことでしょうか。
倒れている人に近寄ること
は「怖いし、とても自分の手
に負えるものではない」と思
われる方もいるでしょうが、
救急法を知っていれば、大出
血や失神にも驚かず、自信を
もって医師の所へ行くまでの
応急手当をなすことができます。
救急法の講習では、血の止
め方、人工呼吸、動けない人
の運び方などを勉強します。
あなたとあなたの近くの人の
ために、ぜひ出席下さい。
(永野 純子)

①組織に参加していない人た
ちに呼び掛けるにはどうし
たらよいか。

私たちは日ごろから隣組を通じ
て、昔の人のことわざにもある
「備えあれば憂いなし」という内
容のことをお伝えしていますが、
実際に訓練などに参加しては
ない、防災知識を普及させることは
容易ではありません。

この点について委員会で協議し
た結果、まず身元度からというこ
とで、町内会の特別防災予算によ
り全戸へ「角布、ライオン付ヘル
メット、非常持ち出し袋を無償配
布し、自分で自分の身を守り、自
分たちで自分たちの地域を守るよ
う呼び掛けて、訓練を始め意識の
普及を図っています。

また、老人の方々に対して毎年
敬老の日には、非常持ち出し袋と
小型懐中電灯を記念品として贈
り、防災意識と訓練の参加を呼び
掛けています。

②家庭の対策促進は
各家庭に支給のヘルメットをは
じめ、家具の倒壊防止器具など防
災用品の直検を毎日曜日(に家族で
実施するよう呼び掛けています。
徹底のため、町内有線放送
を使い、毎月第一日曜日の午前九
時に放送し普及を図っています。

③住民が主体的な活動のある訓
練をする方法について

組織の充実がはからなければ
ならないので、委員が防災に對し
ての認識と知識を身に付けておく
ことと、実際に災害に遭遇した体
験のある人や軍隊生活を体験して

訓練や関係機関の訓練のほか、隣
接町内会との合同訓練、例えは独
自に隣接町内会に連絡
しておき、昼夜関係なく住民に無
通告で有線放送やサイレンを使っ
て訓練を実施することなどもよい
と思います。

⑤家を留守にするときは
家を留守にする場合は必ず親し
い近所の人に行き先を告げ、鍵を
かけて出ること。留守中の家に対
しては、隣近所に留守をする事
をお願いするとともに、隣組におい
て組長ほか一人ほど見回りをする
ように隣組で話し合っておくと

⑥他の組織との連携について
難しい問題ですが、地域懇談会
を利用したり、地域総合体育祭な
どに防災種目を競技に入れてもら
い、コミュニケーションをはかる
のも一つの案だと思います。また
駅内外の防災センターを視察した
り、実技講習などを行ってよい
と思います。私たちが例をい
え、毎年二回男女別別にバスで県内
外の防災センターへ行き、視察、
研修、実技講習を行っています。
参加者には研修レポートを提出し
てもらい活動資料にしています。

⑦中・高・大学生の力を導入
するにはどうしたらよいか
非常に難しい問題です。熱海
市を例にとると、大学生は少ない
ので中・高校生が対象になります。
まず生徒の「両親から災害の
話をしてもらおう」とPTAと先
生方からも呼び掛けてもらって
います。最近、青少年健全育成会が
結成されたので、特に青少年育成
の立場からも自分の身は自分で守
り、自分たちの地域は皆で力を合
わせて守ろうという指導をしてい
きるよう協力をお願いしていま
す。

チェックしましょう 9つのポイント 防災活動Q&A

熱海市紅葉ヶ丘町自主防災会会長 藤間 忠作



⑧リーダーの育成は
被災体験者、有識者、軍隊経験
者を主体として、ある程度強力な
方をリーダーに推薦した方がよい
と思います。各地方で防災リーダ
ー大会などを開催し講演等を行っ
ていますが、あまり効果はないと
思います。各センターごとに開催
している大会を防災会長研修会に
して、分科会形式をとりて総括討
議を行う会議を実施した方が身に
なるのではないかと思います。セン
ターごとに防災施設の整った防災
センターの視察研修などもよいと
思います。ぜひ行政サイドで検討
して下さい。

⑨自主防災組織と行政機関
との連携の工夫について
もっと各自自主防災組織の老成を
知っていただきたいと思えます。
それによって、行政機関との連携
が密になると思えます。私たち防
災会は町内会予算より町内会予算
の中から年間防災予算として五十万
円の手算をいただいています。

④毎年の訓練内容について
年度初めに予算行事計画を作り
実施します。具体的には県下一斉

最近の地震活動状況

静岡県地震対策課

●地盤沈降の傾向続く

現在県内には地震計、ひずみ計、傾斜計など二九六の地震予知観測機器が各機関によって設置されています。このうち二七の機器のデータは無線、電話回線で気象庁などに伝送され、常時監視されています。

【最近の観測結果】

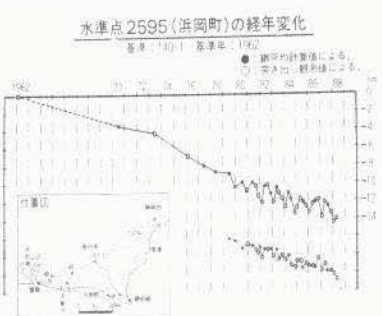
◆掛川 御前崎間の地震変動

昭和十九年の東南海地震の直前に大きな変動を示した掛川周辺の地震変動を連続的に観測し、東海地震の直前に現れる前兆現象をとらえようとするものです。図参照。

年四回観測を始めた昭和五十六年以降の変動を見ると季節変動をしながら年平均四センチの沈降傾向が依然として続いています。

◆地震活動状況

東海地震が想定される震源域での地震活動には、特に目立った活動は見られません。伊の半島東方沖の群発地震は時に小規模に活動しますが比較的静穏です。



●総合防災訓練に参加を

いざ東海地震が発生したとき、冷静沉着に適切な防災行動を取れるためには、日々地道な訓練の積み重ねが大切です。

今年も九月一日(木)の「防災の日」に、東海地震の予知から災害発生まで一連の対応について、岡、県、市町村、防災関係機関や自主防災組織などが連携して「総合防災訓練」を実施することになっています。

自主防災組織においては、出火防止、初期消火、負傷者の救出・救護、防災資機材の操作点検、炊き出し、給水、市町村本部との情報伝達訓練や、津波・山崩れ危険予想地域住民の警戒宣行時における安全、迅速な避難訓練などの実施を呼びかけています。

また、地域内の事業所、施設などを通じて、地域ぐるみの訓練を行うことが大切です。

なお、訓練の計画にあたっては、地域の実情に即した実践的なものとなるよう、事前に市町村防災担当者で十分協議して下さい。

徳田 権作 委員長

清水市静岡県東町自防災会会長

昭和四十七年四月町内会長に就任し、五十二年八月東海地震が発表されるや直ちに自主防災会を結成。

各団体を訪問指導し、その時点で最良と思われる具体的方法をアドバイスしながら、絶えずのこらして住民の協力を得られるか。

考え、一貫して地区住民全員参加の組織づくりを推進。一方、姉妹提携している津波危険地域自主防災会のための食糧確保のため、地区マーケットと協定するなど活動は斬新かつ多彩。他県へもさまざまな講演やテレビ出演など有名。

中嶋 清治 副委員長

新居町自防災会連合会会長

昭和五十二年新居町町内地区自主防災会会長に就任、同五十六年新居町自主防災会連合会発足と同



を募集します。

はがき、封書どちらでもかまいませんが、住所、氏名、所属自主防災会名、職業、年齢、電話番号を明記して下さい。

あなたの意見や活動内容を

削除をさせていただきます。原稿の返却には応じかねますので、必ずコピーをとりおいて下さい。

静岡県地震対策課・推進委員会事務局
〒41200 静岡市静岡市道手町9番6号(電話 0542241516)

時に会長就任

六十年に同連合会傘下の各自主防災会に婦人自主防災会制度を導入、六十二年の夜間予言なし地震防災訓練、六十二年の同時多発大震訓練、六十二年東原総合防災訓練・新居会場での中心的役割を果たす。地域活動が活性化されるところでのみ十分な防災活動ができる。自主防のりくは常に地域活動に積極的に協力し、第一線に立つこととを徳調、実践。

高野 邦雄 編集長
富士市自防丁自防災会会長

昭和五十五年現防災会結成以来、

推進委員の横顔

会長を務め、委員の個別データのバックアップ、防災資機材登録センターの設置、非常線に人材バンク、町内アマチュア無線による情報活動並に訓練、自主防新聞発行など、斬新な制度を次々に導入。

大石 勇輝 副編集長
焼津市自防災会会長

最も活動的な市町村のひとつである焼津市の自主防災会会長、同市が建設危険地域でもあることから取り組むは真鍮そのもの。夜間訓練(二泊)を実施し、独自の避

難生活でニギヤムを作成するなど実践に即した防災活動に努め、指導にあたりている。

他市での自主防災組織リーダー研修会で事例発表や講演を務めるなど熱心な活動家としても知られる。正教師。

藤間 忠作

熱海市稲葉台町自防災会会長

南北を軟弱な山に囲まれた土地柄から、昭和四十七年町内会独立で自衛防衛団を結成。五十二年自主防災会として発展強化を図り、五十二年から会長に就任。防災訓練は、過去の災害体験に基づ

(文責・事務局)

十時間の研修を受けた後、大半が年間自主防の会合に出席するとうる驚くべき活動ぶりである。

現在、全戸対象の「わが家の耐震診断」を重点事項として精力的に展開。

杉山 好

裾野市地震防災推進委員会



昭和五十二年まで十五年余にわたる消防団活動では、市の副団長、本部長などを歴任、五十五年



地域の活性化と連動した防災意識の高揚、自主防組織の活性化を図っている。

元教師、勤労青少年赤十字嘱託員としての経歴をもつ。夫人も地婦連副会長で、「夫婦ともとも地域のために活動している」。

永野 純子

静岡赤十字病院医療社会事業部 保健師・赤十字救急法指導員

昭和四十年以来健康相談・訪問看護に従事するとともに、五十七年以降日赤救急指導員として地域赤十字奉仕団、自主防災組織中核リーダー研修の救急救護実技講師と、東海西走、温泉、誠実な人柄、委員中、紅一点、女性の立場からの自主防対策の推進や、救急救護の専門家としての活動が期待される。

向井 正治
天竜市西町自防災会会長

出陣地自主防災会という地域特性に立脚し、創意工夫をこらした実践的対策を推し進めるとともに、コミュニティ活動を通して、

多くの素人、原稿の執筆から記事整理、刷り付け、校正、印刷、そして各市町村防災担当者へ届けるまでの日数が二ヶ月、創刊号発刊に向けては、創刊号発刊に向けては、暗黒の宇宙に飛び立つ、スペースシャトルの飛行士に似た不安と緊張で、はい、はいです。

次回(11月)発行予定

投稿 待っています

寄稿または掲載した記事についての投稿を募集します。

はがき、封書どちらでもかまいませんが、住所、氏名、所属自主防災会名、職業、年齢、電話番号を明記して下さい。

紙面の都合上、意見を措かぬ範囲での手直し、削除をさせていただきます。原稿の返却には応じかねますので、必ずコピーをとりおいて下さい。

投稿の送り先
静岡県地震対策課・推進委員会事務局
〒41200 静岡市静岡市道手町9番6号(電話 0542241516)

編集・発行 静岡県自主防災組織活動推進委員会
発行所 静岡県静岡市東区寺前5番5号
静岡県地震対策推進委員会事務局
TEL: 0542-21-2456

自主防災

恐ろしい突発地震

12月4日

地域防災訓練の日



知っているのとやれるとは大違い。
みんなでしっかり初期消火。

万一に備えて 訓練は何より大切

静岡県自主防災組織活動推進委員会 委員長 徳田権作

12月4日は地域防災訓練の日です。大変に勉強はしないかと

先進静岡県の「自主防

海外のお手本に

県地震対策課

本県の地震防災対策が、海外で模範とされています。とりわけ、「自主防災組織」、「緊急警報受信装置」、「防災地図」が強い関心のなっています。
第三回日本都市防災会議（市民防災フォーラム）（七月二十一日）で、ロサンゼルス市ポテン消防署長は、昭和六十一年九月に本県を視察した成果などにもつき、アハート・マシソンを単位として、十七の自主防を組織し、さらに本年中には六十組編成を目指していると発表しました。
八月十一日には、メキシコの国家市民保護局市民保護部長ら行政職員と大学教授が本県を訪れ、地震防災施設を見学、懇談しました。このときも「自分たちの地域

いわれるように、巨大地震が突発的に襲って来る場合も考えられます。アハート・マシソンは、地震などの地域差にもよりますが震度は6以上と推定されます。
津波の来襲、液化化現象、家屋の倒壊、火災の発生、山崩れ、崖崩れ、道路の陥没、落橋など予想外の被害が発生して多数の死傷者も見込まれます。交通機関、電気、ガス、水道、電話など生活に身近な施設にも大きな被害が生じ、屋内では固定されていない家具類が転倒したりガラスが飛散した中で、電気もガスも水道も使えない、電話も通じない状況を想定して自分たちの地域（自主防災会）では、いま何を主体に訓練するかを検討されて実施していただきます。



いと思います。
災害時には、人ごりが皆主役とならざるをえません。そのためにも訓練は何より大切です。万一の時に自分自身を守る時を待ちます。頭でなく、体で覚悟もあらうためにも全員が参加して訓練に加わることが大切です。ぜひ、ご参加ください。を合言葉にして県内四、九五自主防災会の三活期を期待いたします。



1985年メキシコ地震

トラテロルコ団地ヌエボ・レオン棟の崩壊
メキシコ市（NITK伊藤和昭氏提供）

日本とアメリカ、メキシコには、風土、歴史が異なることから、おのずから本県の自主防災組織とは変わった形態、活動になることが思われますが、両国とも本県の自主防災組織が大いに貢献していることは事実です。県民の皆さまも喜び、今後よりいっそうの発展、充実に希望する次第です。
（詳細は、八月十一日付の中日新聞、並びに八月十日付の静岡新聞を覗いて）

主な内容

- ① 伊豆の防災レポート
- ② 九月一日「総合防災訓練」体験記
- ③ 家庭の寝たきり病人の避難方法
- ④ 最近の地震活動状況

④面

各地の活動だより

観光地の防災 (伊豆群発 地震探訪)



伊豆東方群発地震で屋根瓦が落下
飛散 (川原町・葛城正平さん宅)

伊豆半島東方沖の「なまず」がまた大騒ぎしています。大事にならないことを願いながらこの機会に震源域に近い伊東市へ行ってみたい。

伊東市は人口七万二千人、二万六千五百世帯の観光温泉都市です。自主防災は百十六組編成で、十

た。特に「大井を出さない」と、海水浴場での避難対策には力をいれている。と、城星町の小柳出城防災会長の自信ある言葉を聞くこともできました。

今回の地震による被害は川奈町の丘陵地帯で建築後二年の葛城正平さんの屋根瓦が震動で落下した

群発地震続く伊豆地方 安全確保に全力上げる

模となつています。伊東市役所では海岸地帯から山の手に至るまで、津波、火災、山崩れなどの注意を同報無線で繰り返し呼びかけており、これを受けて自主防災会ではそれぞれの地域状況に合わせて住民、観光客の安全を守るために活躍しています。

ことと道路の一部陥没などが目につきました。それ以外に大きな被害が出ていないことは不幸中の幸いでした。

市民意識では一部に「またか」という慣れと、温泉地であるため「避難れ」を心配している様子もみられました。一方のときに

防災研修会に参加して

今日は防災活動推進委員会になって初めての出張です。東伊豆町の防災研修会への講師としてですが、いざいざの重いところがあります。

東伊豆町は昭和五十二年一月に伊豆大島近海地震を経験し、私からしてみれば、地震を体験した先輩のところにへ行くのです。

伊豆大島近海地震では、伝えられる途中で情報内容に歪みを生じ、間違った情報が一歩歩きをして大きな混乱を生じたことは、私たちの記憶に新しいところです。

なごですが、災害が大きくなればなるほど被災者は心理的な不安を解消するために、情報を欲する。これは最近のいくつかの災害事例をみても明らかです。

は、観光客の避難誘導など災害に対処する訓練も行っているという聞き取りをしました。

市は担当職員や防災会会長さんとの話し合いでは、伊豆地方に限らず、こうした機会こそ安全対策をより充実し、個人個人が最悪の事態に備えることが災害に強い都

ました。市の消防署では震度4以上の場合には無作為に選んだ市民に、「火は消しましたか」、「ガスの元栓は締めましたか」などの電話による調査を行い、市民の防災意識と地震に対する関心度を高めているそうです。

(8月8日、推進委員長・徳田 作)

私のところでは昭和四十七年に町内会ができて、五十二年には自主防災会ができました。自治会から十五年前でしたが、この十五年の間(約千四百日)火災が一回もないことが町内の自慢の一つです。

自主防災活動と無火災記録 吉川 ささの

それには市の消防署や消防分団の防火PRや熱心な消防活動が大きく貢献していますが、いま一つ、この町の自主防災会が生活の中に溶け込んで、たえず防災、防災と呼びかけ、消防訓練をおこなうことで、初期消火の大切さを教えて下さっていることも見逃せないと思います。

毎年世帯に配られるアンケート調査でも、「消火器、防火用水は準備してありますか」、「寝る前やかけるときはガスの元栓を、電気のコンセントを点検してありますか」、「タバコの吸い殻の始

末はどのようにしていますか」、「ストーブには対震装置がついてありますか」、「自分の家から火を出さない自信がありますか」、「グラブときたらすぐ火を消せませうか」など、日ごろ家庭の防火や地震防災に役立つ項目が必ず入っていて、アンケートの内容そのものが「防災」に対する目くぼり、気づけりとして、わが家の防災の守り神になっています。

私たちの町が水年にならざる無火災でこれからは、防災会のこのような地道な活動の積み重ねによるものです。このことが評価されて昭和五十四年二月には優良防火防の町として市長から表彰をいただきました。

この無火災記録がもっとも長く続きますように、婦人の立場からも防災活動に頑張りたいです。

非常食の地下備蓄 焼津市生活安全課 交通地震防災係

構想が浮かび上がってきました。二の地下備蓄実験は焼津市の第一自主防災会と同地区の第八、九、十各自主防災会で実験してき

ました。防災会では地震が発生した場合に津波被害が心配される海岸の商店街を持つ地域で、避難地は焼津中学校(指定されていますが、収容人数が多いため、さらに安心できる後方基地の豊田地区と協力

肉、乾パン、一ぱんの缶づめ、ちり紙、ガレージ、角魚、脱脂粉、包装、消毒薬、割ばし、アルミ皿、カップ、水道水、湯騰させた水、わき水などの約六百食品と日用品や薬品を、直接、深き約三メートルのホリバケツに分けて詰めて埋設し、その年の約五月後の上旬二十日に保存状態を確認するために、第一回目の掘り出しを行

体制を結び、日ごろのつながりを通し地震時の互いの協力、援助体制を整えるのが狙いの。際として行われた食糧の地下備蓄実験です。

第二回目の実験は昭和五十七年六月で、米、インスタント食品、茶、梅干、食塩、味噌、ノリ、しょうゆ、缶ビール、ジュース、魚の缶づめ、缶詰、缶づめ、鳥



食糧を大きなポリ容器に入れ地下に埋める

と思われました。しかし水道水、湯騰させた水、わき水の二種類は簡単な検査の結果、水道水は殺菌用の残留量がゼロで雑菌のいる可能性が認められたり、湯騰した水もやや酸味がでてしまうなどの劣

しくない結果も出ました。食品類は二のあと、再びホリ容器に詰められ、一年後に掘り出す計画で埋められました。

みんながんばりました

反省もいろいろ

総合防災訓練



真剣なまなざしで訓練に取り組む婦人消火班のメンバー。大竜川緑地で

婦人消火班の心意気に感激

大規模地震対策特別措置法が施行されて今年、九月一日防災の日

印象を受けたのは東部地区の婦人消火班の活躍ぶりでした。

見るだけじゃだめ

新居中学校三年 柴田 かな

国県総合防災訓練のうち、大竜川沿いの緑地に設営された演習会場での訓練は、参加人数二万人

訓練を積んでるんです」と言いきってくださった某婦人消火班のお

「日でも何億円というお金が消えていく九月一日防災の日。『お金の問題じゃない』という人がいる

の地区にも広がって、くれることを願います。

安全な毎日があたりまえであるはずがありません。平和な日本、安全な環境に甘えきつてしまえば危険なことはありません。

この八月六、七日、私たち津市第百自主防災会の七月がかりで行われた避難生活体験訓練に、重度の障害者

以上先日の体験訓練を基に障害者の立場から、もし緊急事態発生にともない直面すると思われることをあげてみました。まだまだいろいろの問題があるでしょう。

仮

みんな防災訓練

清水市立船越小学校六年 小松 葉子



カンカンと半ばうがなびます。防災訓練の合同です。電気が止まったことを考えて半ばうがなびます。

防災訓練が必要だと思います。私は学校の方でも防災訓練をやっていますが、町の方でもお父さんお母さんみんな訓練をします。



葉子ちゃんのポスター

防災訓練

私の町では家族みんな訓練をやります。東海地しんはないという大いますが地しんなどいつくるかわかりません。そんなため

になったら町の中にはり出してく

大揺れの後の恐怖感の最中、燃える火災現場で冷静に消火活動を行うことは、日ごろからの訓練

大切な街頭消火器

避難生活しているものの、その時にはおそろしく不特定の人たちの組み合わせということになる場合が多く、訓練の積み重ねが以上にないでしょう。

この八月六、七日、私たち津市第百自主防災会の七月がかりで行われた避難生活体験訓練に、重度の障害者

以上先日の体験訓練を基に障害者の立場から、もし緊急事態発生にともない直面すると思われることをあげてみました。まだまだいろいろの問題があるでしょう。



家庭には10型と11型の消火器が約百三十本あります。

車イスでの体験訓練

津市第百自主防災会第6分団内 杉本 勝次

この八月六、七日、私たち津市第百自主防災会の七月がかりで行われた避難生活体験訓練に、重度の障害者を持つ私は車イスで参加し、気がついたことをここにあげてみました。

家庭の寝たきり病人の避難方法

昭和六十一年六月の松竹岡火災のとき、当時寝たきりの病人に、避難の準備ができていたにもかかわらず、八十九歳の女性が、助け出された後、せめて自分で逃げられる体を取り戻したいと、二十センチに折り、車いすに一人乗りするまでになった」という記事がありました。



写真1



写真2



写真3

一、避難の方法と人数 赤十字救急救護隊を要する
① 人の場合は、ひもを壁の折れ目、ひもの代わりにするのでもよいでしょう。写真1
② 長い距離の場合は車いす、リヤカーを利用しました。
二、避難場所への経路
避難場所までの距離はどれ程か、階段や坂道、段差、側溝など障害物の有無を確かめておきましょう。
三、看護用品の準備
首替え、便器、その代用品、タオル、オムツカブリ、ビニール

ることもできます。この場合は四人以上で運びます。
② 人の場合は前後を抱いて運びます。写真2
③ 体が硬直している、上半身が起らない人には担架を使い、毛布や戸板を担架代わりにします。
二、避難場所への経路
避難場所までの距離はどれ程か、階段や坂道、段差、側溝など障害物の有無を確かめておきましょう。
三、看護用品の準備
首替え、便器、その代用品、タオル、オムツカブリ、ビニール

児童の引き取りは中学生の手で

昨日の日本中警成宣言発言となった、自主防災会の中には戦時中なる人たちの不在、不足が心配されています。そこで最近話題になっているのが、中・高校生の防戦隊増大のための自主防災活動への参加の問題です。もちろん安全面への配慮は十分すること、自主防災会としては問題ないが、戦時中とは異なる点があります。

戦時中とは異なる点があります。戦時中は、児童の引き取りも大抵、大変な事業で、小・中学校には小・中・小学校が存在せず、児童や小学生が帰宅する地域から、中学生も通学して行けるという、警戒宣言が発せられたら、中学生は直ちに園や小学校の引き取りの任務の分担を行います。そして、園児・児童を無事に家庭へ送還の結果を

配慮)に達し届けるか、あるいは防災計画に沿って収容保護し、避難地域にあっては指定された避難場所に送り届けて引き渡します。その後は自主防の員として活躍をしようとするか、ということに決断を要する点があります。
しかし、帰宅途中で発災した場合、全うがたないわけではあります。道路の危険度の問題もあるため、帰宅途中の発災に備えて緊急避難場所の選定や、そのときの自主防の対応処置、帰宅路の危険度が大きければ、回り道になってもより安全な帰宅路を選定しなければなりません。危険度によっては自主防から大人数を派遣して万全を期することが必要でしょう。

過去の地震災害と比較して、今の高度化した社会に待ちはない。危険度は計り知ることばかりではありません。大奇れは、殊の知恵、皆協力して考えよう。
(推進委員・杉山好)

大地震発生時の一電、電話水道、都市ガス、これらがライフライン施設被害は、生活に大きな影響をおよぼすことを覚悟しておかなければならないです。道路、橋、建物が壊れ落ち、路上に散置した車も交通障害となつて道路交通は寸断する恐れがあります。また、水道管の破裂、漏水による断水や電話の不通、停電、さらに消防活動や救護活動が十分に打たれない状況も考えられます。

まず防災委員が知識を身に付けよう

このため、自衛出火防止、初期消火、被災者の救出救護、避難などを進めなければなりません。
こうした活動を行う場合、各自がどう行動しても効果が期待できません。むしろ混乱が増幅する恐れがあると思えます。そこで住民が自衛組織の行動するに必要になってくるのは役割分担を決定することです。それをこの役割分担を決め、地域の事情にあった防災組織を設計、常駐二つからのきめ細かく対策を

二つ以上の地域全体のより充実した防災活動が期待できるのではないのでしょうか。
中でも上位となる家庭の役割は最も重要な位置にあり、防災活動の中心となるべきです。家庭内での防災活動の準備や訓練の指導も、また、防災委員の役割は、家庭の防災活動を支援することです。家庭に対する指導を要する。度々直ぐ、上からの指導を徹底することにより、災害時にたいして

最近の地震活動状況

七月十六日活発化した伊豆半島沖地震は、最大震度四で、中震、有感地震。震源は伊豆半島沖、震源深さ約十キロメートル。震動は、伊豆半島沖に始まり、七月十六日には静穏化しました。
今世紀にわたる伊豆半島沖にける主要な地震活動は、一九〇一年代と一九七〇年代以降現在までの活動に大別できます。前期の活動は、一九〇一年、月から八月までの伊豆群発地震に始まり、十月、

静穏化した油断禁物
伊豆半島沖地震は、最大震度四で、中震、有感地震。震源は伊豆半島沖、震源深さ約十キロメートル。震動は、伊豆半島沖に始まり、七月十六日には静穏化しました。
今世紀にわたる伊豆半島沖にける主要な地震活動は、一九〇一年代と一九七〇年代以降現在までの活動に大別できます。前期の活動は、一九〇一年、月から八月までの伊豆群発地震に始まり、十月、



伊豆半島地域における1974年以後のおもな地震活動

編集後記

自主防災会(第)の発行にあたり、テレビニュース、新聞各社に積極的に取り上げていただき、目的の一つである防災に関する啓蒙の役割を果たしたかと思えます。そしてまた、県内各地よりの反響の速く大ききにも驚いておりました。
過日、富士市の地震対策室に所長が来訪したとき、お話を伺った。そこには東洋大学地震研究所の担当正博士が見え、自主防災活動の重要性が語られていた。富士市地震対策の発展を期して、自主防災会の説明を、特に災害は見たら、その見解に、安心すると同時に、異常が生ずるまでに十分な準備を

次回発行は1月1日の予定
編集委員・高野邦雄

1989年1月1日

編集・発行 静岡県自主防災組織活動推進委員会
発行所 〒420 静岡市道幸町9番8号
静岡県地震対策推進委員会事務局
TEL 0542-21-2454

自主防災

日頃の備えで地域の安全

資機材の点検忘れずに

る
るすの時
隣りに頼む
助け合い

は
はつはるに
家族みんなの
役割り分担

つ
つぎつぎと
やって
おきたい
家庭の対策

は
はじめから
上手ねらわず
防災訓練

て
天災は
忘れた頃に
やってくる

え
遠地の
親せきよりも
近くの他人

か
火事は
出さない
グラツと
きても

む
むずかしいと
決めて
かからず
転倒防止

油断大敵

365日が防災の日



考えてみましょう

防災クイズ

当選者にはプレゼント



年頭挨拶

「治」において「乱」を忘れず

一年の計は元日にありと申します。県内自主防災会の皆様には、今年のことの意識を初春を迎えながら、このこと思ひます。推進委員、同会活動を始めてから1ヶ月、「見えない地震」の発生を予見する防災の強化をめざして、全力投球をします。何となく、これが、この季節は防災資機材の整備点検活動、特にエレベーターの始

一年の計は元日にあり 防災の計は毎日にある

動、乱は高層にたつたる時期をと思われまふ。この節において「乱」を忘るすの心構えで、地震を予見する防災の強化をめざして、全力投球をします。何となく、これが、この季節は防災資機材の整備点検活動、特にエレベーターの始

主な内容

- ・対談「自主防の課題」 廣宮 弱者対策と中・高生の参加
- ・ケガの救急処置「止血法」
- ・小学校の防災対策

問1 「天災は忘れた頃にやってくる」といふことを初めて使うといわれる人はだれでしょう。
答 ①夏目漱石
②寺田実郎
③鳥出紀夫

問2 果では、地震に備え、家庭飲料水のたくわえを呼びかけていますが、その水量の基準は次のどれでしょう。
答 ① 人、1日1リットル、1日分
② 人、1日1リットル、1日分
③ 20リットル、1週間分

問3 警戒宣言の発令は市町村役場や消防署のサイレンによってお知らせされますが、その鳴り方は次のどれでしょう。
答 ① 休みながら鳴り続ける
② 15秒鳴りして5秒休むを20回繰り返す
③ 15秒鳴りして5秒休むを20回繰り返す

◎応募方法
官製ハガキにクイズの答えと、郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、機関紙「自主防災」を宛てての感想を明記の上、「応募下さい」と、人さま、通し願ひ。
◆応募先 〒420 静岡市道幸町9番8号、静岡県地震対策推進委員会、防災クイズ係
◆締め切り 1月1日（土）正午（当日消印有効）
◆賞品 防災に役立つ「マダマは地震博士」「自衛書房」を贈答者の中から、抽選抽選のうえ、作者にプレゼント。
当選者の発表は賞品の発送をもつてさせていただきます。
（静岡県地震対策推進委員会）

地域の若い力 高めたい参加意識

みんなで考えよう力を合わせよう

行政や防災機関との協力を密に

徳田 地域のことを考えると頭がいっぱいになります。大災なのでどう対処するかが問題です。助けに行っている家の下敷になる場合もあるでしょう。可能なものを必要でも、少しでも前進すればよいと思っています。

中嶋 自らの責任の解しや、上級者について私自身の考えをのべておきたいです。善意でやっただけで失敗をしても責任を追究されるべきではないと思います。ボランティアとしてどこまで責任をとらなければならないか、フォローならば合理的かつ適切な状況判断ができるでしょうが、私たちはボランティアではないので、あつちの方がよかつたと思ってもその時々のリーダーの判断が最善であつたと考えてもらっては困ります。そのためにもリーダーとなる人は、豊かな知識を学び適切な状況判断ができるような学習が必要



中嶋清治氏

でなく、婦人層も地域の中で、防災を話題にするような雰囲気づくりが必要でしょう。

役割について組織的に活動するには、ある程度具体的な決めが必要になります。その時々の約束ごとだけでどうも、いきまぜん。お話しを聞き調子はどうかというふうな会話が日ごろか

ら生まれるようにしたいのです。日ごろのコミュニケーションが大切で災害時だけではないです。自らの役割は問題が起きる前の備え(例えば必要介護者台帳などの整備)を基本的に行うことです。災害が発生したら、自らの自分の地区の管理、つまり病棟衛生、給食の管理をすることです。夜間に起きた場合は先頭で仕事民を助めます。自防だから必ず先に出るわけではなく、できる人からやることでしょうか。まず自分の家族の安全を確認してからでよいと思います。

徳田 全くその通りです。シシンの日ごろから、雨か急に降ってきたら隣の人が上手い物をとって込んでくれます。人間関係がよ、何があれは誰かが来てくれると信じているのです。隣は何をする人ぞの街の中の人はどう

高野 病棟の方を避難させることはできたとしても、避難が長時間になった場合は、いろいろな器具をつけている患者の対応が大変に



永野純子さん

でしようか、心配です。

徳田 地区によりますが、でも、よく、悪い面があります。

杉山 郊外も人口が増えてきたので、ユニークなシシンの方も出ていない所もあります。昔はおかずを持って行った位でしたが、

大石 世代によっても異なってくるように思います。

あくまでボランティア。

100%の安全

責任は持てない

高野 病棟の方を避難させることはできたとしても、避難が長時間になった場合は、いろいろな器具をつけている患者の対応が大変に

大いります。災害救助の方には頼りませんが、責任問題云々ありまして難色を呈しています。実際、私の父も寝たきりですが避難は難しい状況にあります。

永野 いま家庭におられる方の大多数は、専門家がなくても看護できるような家庭に帰って行くわけですね。家族が避難場所へ移ったからといって必ずしも病状が悪化するとはならないと思います。慎重をきずるためにも家族の方に、運び出してほしいか否かを判断していただけたらと思います。

高野 重度の患者の場合は介護人の意向を聞いたうえで判断をするようにしては。

大石 家族からの要請があった時にどうするかは難しいと思います。

中嶋 いつも考えるのですが、自防が、安全の責任をもつのでなく、行政や防災機関などと協力して、目的に向けて活動するのが望ましい姿ではないでしょうか。

中嶋 中野市は可搬式ホシメアを夏には操作してくれませんが、冬には冷たいのでやってくれませんか。



杉山好氏

杉山 中野市は可搬式ホシメアを夏には操作してくれませんが、冬には冷たいのでやってくれませんか。

中嶋 私のところ(新居町)では少年少女消防クラブがあります。しかし活動がだんだん薄らいできています。ただ防災だけに参加しなさいといつてもだめです。中学生が地域の催し物に参加できる雰囲気づくりが必要でしょう。地域に根をおろすには、一つの学校だけではできませんね。学校の防災担当の先生方の熱意によって進めてきます。

徳田 たしかにリーダーの意欲によって進みますね。みなさん、非常に熱心にお話をしていたら、非常にありがたいです。

子供の頃から防災の意識をもたせたい

徳田 自防に中学、高校生の参加がないのが悩みとなっています。中・高生は体力があり、行動力もあるのです。自防にとって大きな戦力になります。現状では、一部の参加があったものの、ほとんど参加していません。参加しない理由は、部活やテストなどがあ



高生は地域防災の大きな担い手だといわれています。私のところの市議会(清水市)で議員の質問に対して、教育長が「防災訓練に参加するように」と答えています。

中・高生の防災訓練参加

家にいる時は地域の一人 家族の理解も大切です 参加できる雰囲気作りを

高野 五十八年からと思います

が、私の市(富士市)では訓練当日は中学生の部活はやらないようになっています。しかし、自防の中には受け入れに問題があるとこのもありません。そういうところは今年から消防分団で、男子生徒には消火の勉強と実演、女子生徒には救護法を行うようにしました。

私のところの自防では、三年前からPTAの役員にも入っていた。生徒の発言を聞き、訓練計画の中に入れていきます。子供のころから防災の意識をもつてもらうのが必要だと思います。

徳田 たしかにそうだと思います。二年間、少年防災会をつくらうと決めたことがありました。が、いまだに実現しませんが、子供のころから参加して防災に関心

校生の方はだめです。教育委員会は通達を出しているのですが、教育現場で困っているところがあるようです。

県地震対策課 現状としては中高生に、防災の日には部活を中止するよう通達を出しています。しかし部活がないからといって防災訓練に参加しているかというところではないです。二年間ある振興センターで、自防、行政、学校の三者で話し合いました。その中で学校側は、訓練に参加したか何をするか否か、見学だけで終わってしまったので、そのあつたぶん参加しなさいというふうになりました。たしかに、参加した場合は、もう何かあったら、学校の責任問題がどうなるかを心配してました。

日ごろから三者の話し合いが必要

高野 家庭内にも問題があります。父兄の中には、防災訓練に行くことでより勉強の方が大切だといつて、協力的でない方もいます。年一回でも防災訓練に参加して、それは意識は向上するのですが

杉山 中学生は可搬式ホシメアを夏には操作してくれませんが、冬には冷たいのでやってくれませんか。

中嶋 私のところ(新居町)では少年少女消防クラブがあります。しかし活動がだんだん薄らいできています。ただ防災だけに参加しなさいといつてもだめです。中学生が地域の催し物に参加できる雰囲気づくりが必要でしょう。地域に根をおろすには、一つの学校だけではできませんね。学校の防災担当の先生方の熱意によって進めてきます。

徳田 たしかにリーダーの意欲によって進みますね。みなさん、非常に熱心にお話をしていたら、非常にありがたいです。

ケ 救 急 力 処 置

簡単にできる『止血』

道具がなくても大丈夫

大きなケガをした人に出会ったとき、「医者だろ救急車だろ自分たちではどうすることもできない」と思っているからで「しかし、大出血の場合は医者に行くまで、救急車の来るまでに出血量を減らす



写真1

を、手場合があります。そんなときに、道具がなくても大助けができるのが、救急法の中の止血法です。



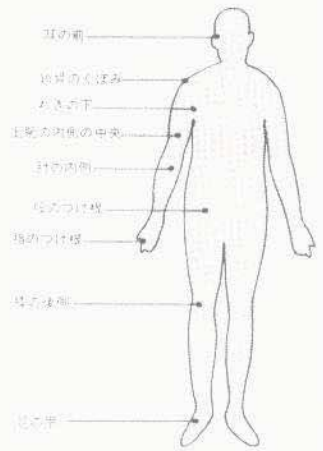
写真2

一、静かにして心臓より高く上げ、出血を少なくします
二、直接圧迫止血
傷口の上へ、きれいなガーゼかハンカチを当て、手で押さえるか指を押し、直接傷口を圧迫して止血します。

三、間接圧迫止血
傷口より上方、心臓より上方の動脈を親指の腹で圧迫して止血します。一般の付根の場合は手のひらで圧迫。この場合は止血の例を例として示しますが、手などをあげてみてもよいです。

四、直接圧迫止血や間接圧迫止血だけでは止血できないときは両方あわせて行います
五、止血帯という「紐」や「ビネ」で傷口より上方をしぼることがありますが、危険を伴うので救急法を勉強した人が行うとよいと思います。

間接圧迫止血動脈と止血点



指の付け根を両側から押さえます。

指の付け根を両側から押さえます。

指の付け根を両側から押さえます。

覚えておきたい 防災知識



小学校の防災対策について

小学校の防災対策について、熟練の先生が各地の引き渡しの場所まで、親子で参加している。その中には、親子で参加している。その中には、親子で参加している。

重要な「オ・ア・シ・ス」訓練

PTAも積極的な取り組みを

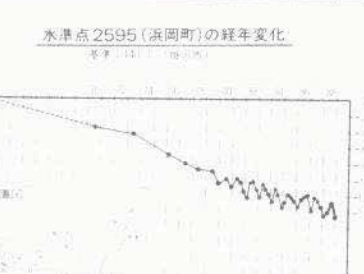
いざという時に学校を避難させるべきことは、子供を親と一緒に無事避難させることにつきます。第一、小学校には現在、約15万人の生徒がいます。

交通事故に不安を感じなければなりません。防災訓練は年に数回行われ、その中には、親子で参加している。

親子で参加している。その中には、親子で参加している。

親子で参加している。その中には、親子で参加している。

親子で参加している。その中には、親子で参加している。



例年より早く、深まりが秋に感じられるようになった。第二号は、自主防活動の中でも、難しい問題とされている。第三号は、若い方を自主防活動に誘い入れていくか、をテーマに話し合いました。

最近の地震活動状況

震源域の活動は低調

【最近の観測結果】
御前崎 沈降傾向が依然続く、
御前崎 沈降傾向が依然続く、
御前崎 沈降傾向が依然続く、

地震活動状況

東海地震を想定される震源域での地震活動は、特に目立った活動は見られません。

1人ひとりがみな主役

自主防災

〈 第 4 号 〉

平成元年 1989年 3月 1日

編集・発行 静岡県自主防災組織活動推進委員会
発 行 所 〒420 静岡市東千町9番8号
静岡県地震対策推進委員会事務局
TEL 0542-21-2468



がんばってます 東西

にしひかし

訓練効果を高めよう

大きく育った自主防災



春野町熊切自主防災会の消火訓練 昨年12月1日の地域防災訓練で



競技を通して街の危険箇所をチェック

地域における防災訓練は、市町村や自主防災組織が各々工夫を凝らして実施されています。訓練効果をさらに高めるために、新しい訓練法の開発が望まれています。そこで、このような視察から、県中部振興センターが清水市と清水市西部地区連合自主防災会の協力を得て実施した「防災体験ウォークラリー」についてご紹介いたします。

試してみませんか？

防災体験ウォークラリー

訓練にゲーム性加え好評

防災に関する課題をグループ共同の力で解決しながらゴールを目指す。ゲームの性質を取り入れた防災訓練です。防災体験ウォークラリーを通して街中の危険箇所や防災施設を確認でき、地震発生時にどう行動すればよいのかを身につけ、いざという時に役立つ知識や技能を身につけることができます。実施する防災訓練に導入できるという、手引書を作成中ですので、完成後は三活用ください。問い合わせは県中部振興センター 松本 電話054-2269000

主な内容

- ・ 体験記「防災活動この一年」消火技術競技会に参加して「地震と防災」
- ・ 「伊豆沖地震を体験して」②③面
- ・ 覚えておきたい防災知識 ④面

静岡県地震防災センター

4月20日(木)静岡市にオープン、皆さんもご利用下さい

『知事賞』決まる

模範自主防災組織表彰 12団体が決まる

昨年、昭和五十六年度から地域において自主的・積極的な活動により、防災意識の高揚に寄与している模範自主防災組織に対し、知事賞を授与しています。本年度は次の十二自治防

防会が受賞に輝きました。



日頃の努力が認められました

- ・ 沼津市東町自主防委会 (会長・八木橋清)
- ・ 裾野市降下・市ノ瀬自主防委会 (会長・信長正男)
- ・ 長泉町藤原上区自主防委会 (会長・嶋田正雄)
- ・ 富士市九区自主防委会 (会長・室藤利政)
- ・ 清水市西久保六区自主防委会 (会長・岸井直)
- ・ 藤枝市滝原自主防委会 (会長・栗原義郎)
- ・ 岡部町内 自主防委会 (会長・叶内裕三)
- ・ 吉田町新田自主防委会 (会長・輪多次郎)
- ・ 磐田市鎌田自主防委会 (会長・新貝良寛)
- ・ 佐久間町上市場区自主防委会 (会長・野島昭彦)
- ・ 細江町湖東区自主防委会 (会長・牧野直)
- ・ 舞内町神町自主防委会 (会長・山下清雄)

より積極的な意識が大切

防災活動この1年

定着した町内会としての活動

志太郡岡部町第2自治会内一自主防災会会長 叶内 精二

私たちの地域では、自主防災活動といっても、以前は行政側から指定されたことすら消化不良きまり、受身身の姿勢で進められていました。しかし、東海地震はいつ起きてもおかしくないといわれる中で、訓練の積み重ね、各地で発生する地震の教訓などにより、今では町内会活動の大きな活動源として定着しています。今年度は次のような事を行って

みました。

一、ブロッコリーの点検
防災委員と役員九名でメンバーを構成。初めに県の編集したビデオ「ブロッコリーの点検と改善方法」で調査、測定、基準などを学習し、それから地区内の実地調査を行いました。その結果、調査箇所、十四件中、八件の危険箇所が

明らかになりました。

二、防災用具の修理など
老人クラブと防災会「町内会」の間で、伝票(1)修繕依頼書、(2)修繕報告書で処理できるよう協定をしました。具体的には役員が故障箇所を発見し老人クラブへ通知、クラブでは修繕が完了した後、町内会へ提出することにし

ました。

三、非常板の設置
伝達の一として昔からあった二階の鉄板を、地区内二戸につき、一個の割合で設置しました。これは費用が安く、目に付きやすく、中には鋼板がきの屋根をつけた豪華なものもある。防災の意識を高めるのに適しています。

四、新しい防災訓練
避難者の完全把握と避難生活での対応を主体としたもので、ボート(1)と(2)へ八世帯を記入したものを作成し、避難者は自分の住所へ印(ボート)を付けます。さらに、本部でカードを受け取る。カードは通し番号(2)に記し、避難者は車庫ナンバーを記

す。カードは避難生活中に飲料水、食料などの配給の際、身分証明書として使います。(飲料水は避難地に持ち、貯水タンクがあり、実際に管理し、支給の方法、受給の状況などを体験してもらった。)

以上がこの一年の活動状況です。特別賞さんに五知らせし、参りにしていただき、よりよい活動を目指して取り組まれましたが、昨年九

月の志太郡原振興センター主催による「自主防り」セミナー研修会の席上で、優良自主防災会の表彰を受けました。はたしてそれに値するのかが感じますが、これを機により、層目覚して日常の活動に取り組みたいと思います。

最後に、この何年かの防災活動を振り返って感じるのは、訓練のマンネリ化による意識の低下です。かといって、必ずしも訓練を減らす必要はありません。むしろ、訓練を減らす必要はないと、関心集めるもの。訓練のための訓練「になりかれません。訓練には、創意工夫も必要ですが、本気で必要なのは、おもしろくも何となく家庭内の対策であるということを知りました。

日頃の訓練と防災に対する意識がなければいけないのではないと思ひます。消火訓練は日頃行えませんが、防災意識をいっつも持つということになるのかなかそうもいかな、何か起こらないという大災に対する認識を緩みかちになりません。このように競技大会が開催されることは、自主防災会に対する意識の向上に大変に役に立つと思ひます。これを機に自分たちの職場、地域の自主防災活動へ積極的に参加しようと思ひます。

位という好成绩を納めることになりました。

今回この大会に参加した事は、私自身に大きな成果となりました。それは、大災消果となりました。冷静に速やかに行動を起す必要です。という自信を持てた事です。

大災というものは、大災人災にかかわり守り起すはならない事で、主として、発生したときの心がまえとして、役に立つ体験をさせていたなきありがらうと思ひます。

落ちて着いて



消火技術競技大会

消火技術競技大会に参加して

投稿

瀬野市において、第一回消火技術競技大会が行われ、私は同じ職場の上司とチームを組みました。競技種目は屋内消火栓操法と消火器操法の二種目で、私たちは消火器操法に出場しました。

消火器は私の働いている工場でも多くの数と種類のものであります。使用方法は簡単で誰にでも扱えるものですが、「いざ大災」というときには思ひだして使えないものです。そんなことで私たちは日頃から消火訓練を行っていま

した。その成果が出たのが、参加したチームの中で、位と好成绩を納めることになりました。

自身もこのような防災競技に参加したのは初めてでしたが、出場守る自主防災意識というものが強く

「自主防災意識」を再確認

「日頃の他の事業所の人たちは真剣な表情で競技に取り組んでいて、自分たちのものは自分たちで守る自主防災意識というものが強く

信を無くした私は、同会社の人の助けを求めました。訓練でも規律が良くて減点されてしまえばためなんだよ、確実に行うことだまらうと、胸に染みるようなアツ

い体験ができました

河内 美代子 矢崎部品勤務

山本 和史 矢崎電線勤務

位という好成绩を納めることになりました。

今回この大会に参加した事は、私自身に大きな成果となりました。それは、大災消果となりました。冷静に速やかに行動を起す必要です。という自信を持てた事です。

大災というものは、大災人災にかかわり守り起すはならない事で、主として、発生したときの心がまえとして、役に立つ体験をさせていたなきありがらうと思ひます。

確実に

瀬野市で以前行われた第1回消火技術競技大会に参加者のお二人から体験記が寄せられましたのでご紹介します。

「ヒースヒース」大会で、位になり、会社に戻った私たちが最初の言葉です。「おめでとう」。同じ課の人たちが快挙を喜んでくれました。「やっとなんてVサインです」

大会に行く前は「さうせ無理だ、男の人ばかりだろ」と。男性が大半を占めている名簿を見て私たちがあきらめていた。が、「恥はかきたくないわ」と、他の女性には負けたくないわ」と、女性特有のさうせ練習に励む大会に臨みました。

高が得意な失敗したらさうせ、転んだらさうせ不安が私にも伝わって、でも押さえて来ます。競技が始まると、さうせさうせさうせさうせ、他のチームの行動の速さ、規律の良さを、さうせさうせさうせ、目

「自主防災意識」を再確認

「日頃の他の事業所の人たちは真剣な表情で競技に取り組んでいて、自分たちのものは自分たちで守る自主防災意識というものが強く

信を無くした私は、同会社の人の助けを求めました。訓練でも規律が良くて減点されてしまえばためなんだよ、確実に行うことだまらうと、胸に染みるようなアツ

い体験ができました

河内 美代子 矢崎部品勤務

山本 和史 矢崎電線勤務

位という好成绩を納めることになりました。

今回この大会に参加した事は、私自身に大きな成果となりました。それは、大災消果となりました。冷静に速やかに行動を起す必要です。という自信を持てた事です。

大災というものは、大災人災にかかわり守り起すはならない事で、主として、発生したときの心がまえとして、役に立つ体験をさせていたなきありがらうと思ひます。

まちづくりは防災から

覚えておきたい 防災知識



ひと声の呼びかけ

裾野市地震
防災指導員 信沢正男

「ひと声」が最大の備え。地震の際の負傷原因の中には、「熱湯・火気」による「やけど」があります。それは、火災発生の際にももちろんですが、火を止める時にガス罫や鍋に触ったり、あわててストーブや熱湯の入った物をけとびたりして「やけど」をします。

「やけど」は、水通をうぶたたり、やけどした箇所は、清潔な布で包帯してあげます。重症ならすぐに病院へ。

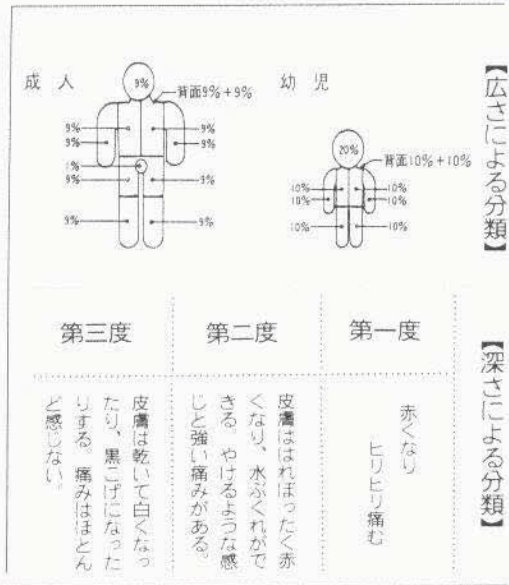
きれいな水で冷やすこと

傷口は清潔な布で包帯 重症ならすぐに病院へ

やけどの 救急処置

一、手当て
できるだけ早くきれいな冷水（水道の水など）で冷やしてください。やけどの部分を蛇口から出る強い水が当たらないようにします。痛みが止まるまで冷やしますが、体が冷えるときは、やけど以外の部分を温めて体温が十六度以下にならないようにします。

地震の際の負傷原因の中には、「熱湯・火気」による「やけど」があります。それは、火災発生の際にももちろんですが、火を止める時にガス罫や鍋に触ったり、あわててストーブや熱湯の入った物をけとびたりして「やけど」をします。



【広さによる分類】
【深さによる分類】

「やけど」は、水通をうぶたたり、やけどした箇所は、清潔な布で包帯してあげます。重症ならすぐに病院へ。

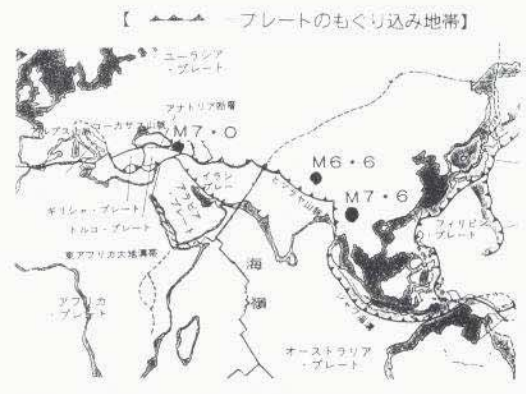
「やけど」は、水通をうぶたたり、やけどした箇所は、清潔な布で包帯してあげます。重症ならすぐに病院へ。

「やけど」は、水通をうぶたたり、やけどした箇所は、清潔な布で包帯してあげます。重症ならすぐに病院へ。

昭和63年の地震活動

過去最高だった有感地震回数

伊豆半島地震
伊豆群地震
伊豆半島地震
伊豆群地震



【プレートのもくり込み地帯】
伊豆半島地震
伊豆群地震

昭和63年の地震活動
伊豆半島地震
伊豆群地震

編集後記

年度末が近づいてきました。防災委員会員の皆さまに、今年度の活動報告を、お寄せください。

原稿や写真を お寄せ下さい

原稿や写真を、お寄せください。編集後記、原稿や写真を、お寄せください。

次回発行は6月1日予定
編集長・高野聖雄

自主防災

第5号

平成元年(1989)7月1日

編集・発行/静岡県自主防災組織活動推進委員会
発行所/〒420 静岡市追手町9-6
静岡県地震対策課内推進委員会事務局
☎0542-21-2456

不意の地震に日頃の用意

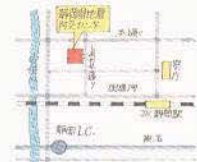
地震防災の発進基地



静岡県地震防災センターがオープン

自主防活動の中心となる「静岡県地震防災センター」が今年の4月、静岡市内にオープン。すでに来館者1万人を突破しました。地震の基礎知識や津波・煙・震動避難などを模擬体験しながら、家族そろって楽しく学習できるセンターを、ぜひ気軽にご利用ください。

- 所在地 静岡市駒形通5-9-1(西部循環 駒形5丁目)
- 開館時間 午前9時～午後4時
- 休館日 月曜日(12月28日～1月4日)
- 問合せ ☎0542-51-7100 ■入館料 無料



県民の防災意識が高まることを期待 今年「家庭対策」を 推進します

県自主防災組織活動推進委員

徳田 権作



静岡県自主防災組織活動推進委員 徳田 権作

会は発足二年目を迎えました。初年度の活動を振り返りますと、「自主防災」新聞を四回発行、また県内での防災講演会への講師派遣など多忙の一年でした。講演会は二十九会場で開かれ、参加人員は五千十一人を数える成果を上げました。

本年度は県民の防災視野の拡大と意識の高まりを期待して、「自主防災」新聞を増部することになりました。また情報交換、講師の派遣活動と地域懇談会の開催などを活発化させるとともに、防災の原点である「家庭対策」を積極的に進めてまいります。

今月四月には静岡県地震防災センターが完成しました。このセンターを自主防災の総合研修の場として大いに活用し、ここで得られた知識と体験を各家庭と地域の防災強化に役立てていただきますと思っています。

防災活動に「上限」はありません。平成元年度も「見えない地震との戦い」です。私たち推進委員も県内四千九百七十四の自主防災組織活性の旗振り役として精いっぱい頑張っています。

呼びおこそう 防災意識!!

静岡県防災局長 杉山 俊朗

自主防災組織活動推進委員会のご努力により、「自主防災」新聞は発刊三年目を迎え今回、第五号発行の運びとなりました。この新聞の存在は全国的にも注目されており、県民の防災意識の向上に大きな力を発揮するものと、ますます大きな期待がかかります。

危険感や防災意識の低下が指摘され、最近の異常なほど低調な地震活動の状態から「東海地震は起こらない」といった誤った理解をしているむきがあるように思われます。

しかし、東海地震発生の可能性が、日一日と高まっていることは、地震学者の一致するところであり、

ろです。私たちは、住民相互の協力と自らの生命、財産を守るという自主防災の精神のもとに予知された地震だけでなく、突然起こる地震に対しても常に機能できるようにしておく必要があります。

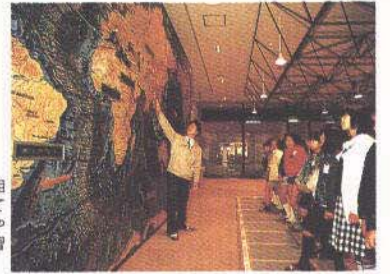
四月二十日には「静岡県地震防災センター」も開館いたしました。県民の東海地震に対する防災意識の啓発、さらに防災についての研修の場として大いに活用していただき、県民の防災対策の活性化に役立てていただきます。

地震対策の あらゆる機能 が結集

4/20オープン

県民の防災意識の向上と自主防災組織活性化の拠点としての期待を担って、四月二十日に「静岡県地震防災センター」が、静岡市駒形通五丁目に開館しました。

一階には東海地震が起きる仕組みを模型と映像で分かりやすく説明する「展示コーナー」と、来館者が地震や津波を直接体感できる「体験コーナー」があり、「東海地震の恐ろしさを目や耳からだけでなく、体全体



展示コーナー
地震が起きる仕組みや、地震に関する知識を学ぶことができる。

震の揺れをはじめ、消火・避難・津波のすべてについて模擬体験できる全国でも初めての施設です。それだけに参加者達は式典のあと、センター内の各施設を興味深そうに見学しました。地震体験コーナーで関東大地震の揺れを体験したり、津波水槽で実物の約五分の一の津波が押し寄せるさまを見て驚きの声をあげたりしていました。午後一時からは「東海地震に備える」というテーマの地震防災パネルディスカッションが行われ、まず、浅田敏・地震予知連絡会会長が「東海地震とその後の動向」と題して基調講演をしました。パネルディスカッション



体験コーナー
モデルルームで地震のゆれを体験したり、スクリーンの火災に向かっただけで消火をしたり、煙の迷路を避けるなどの体験学習ができる。

開館一カ月半で二〇〇〇〇人突破！
地震防災センターは、視覚に訴える展示物を備えていることに加え、地震・津波・火災などの恐ろしさを身をもって体験できる施設が多く、来館者にすこぶる好評です。このため、開館から約一ヵ月半後の六月六日祝日に、来館者が早くも一万人を突破しました。地震防災センターでは当初、年間の来館者は三万人程度と見込んでいましたが、予想を二倍も上回る速いペースでした。

予想上回る来館者

遊んで、学んで、地震博士になるろう

利用されています、地震防災センター

で感じてもらえるようになっていきます。

二階には二百人収容で視聴覚機材を使つての学習研修ができる「ないふるホール」、五十人が一度に地震防災Q&A（質問と回答）を行うことができる「なまずホール」、地震防災に関するデータを提供する「かなめいしルーム」、地震関連の資料の閲覧ができる「図書室」があり、一階の展示・体験コーナーで勉強したことを深く掘り下げて知ることができるようになっています。

三階には百二十人までの各種の会議ができる「会議室」、二十一畳敷で救急救護などの訓練が

できる「訓練室」が備えられています。

東海地震に ついて活発な 意見交換

開所記念式典

この日午前十時から開かれた開所記念式典は、斎藤県知事、白根県議会議長の出席のもとに、国土庁の三木防災局長、天野静岡市長、徳田自主防災組織活動推進委員長をはじめ、市町村、経済団体、消防・防災関係機関、自主防災組織等の関係者ら約二百人を招いて盛大に行われました。

この地震防災センターは、地



津波コーナー
津波に対する心構えをもつために、津波の揺れを体験し、もろさを知って、臨場感あふれる演出が見どころ。

ヨンでは、直接地震予知に携わっている研究者として、気象庁の濱田・津波監視課補佐官と萩原・国立防災科学技術センター所長、県内企業の防災担当者代表として堀之内・ヤマハ発動機採用教育課長、自主防災組織を代表して徳田推進委員会委員長の五人がパネラーとなり、それぞれの立場から東海地震について意見を述べました。これに続いては、川端・SBS報道部長がコーディネーターとなって、会場の聴講者を交えて活発な質疑応答が行われました。



ないふるホール
視聴覚機材を使つて、地震防災の学習研修をする大ホール。一度に200人が収容できる。



一万人目の来館者となったのは、社会見学に来ていた賀茂郡松崎町の三浦小学校四年生の齋藤健太君(10)で、斎藤君と一緒に来館した三・四年生の児童全員とともに記念の文房具をプレゼントされ、大喜びでした。これまでに地震防災センターを訪れたのは、静岡県内の自主防災会や自治会、婦人会、消防署、学校関係者などが中心です。そして、県外からも関東地方を中心とした各地から多くの来館者が視察に訪れています。

自主防の大きな手

中・高生の訓練参加

中・高校生は、いざ災害の際に体力・活動力ともに地域防災の大きな担い手として期待されていますが、訓練への参加の気運が高まってきました。

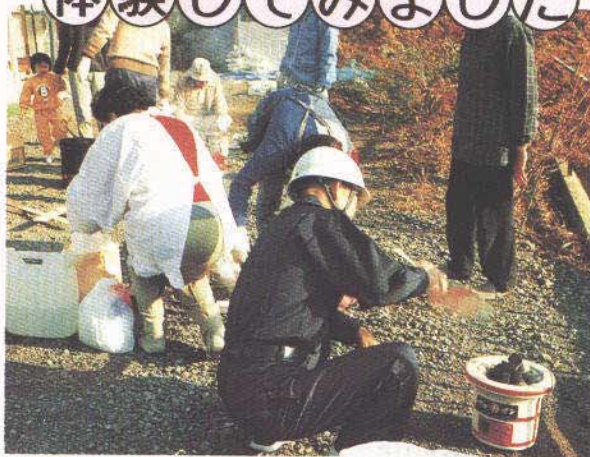
参加する側も、これを受けとめる地域でも、ぜひ実施に役立つ訓練の計画をお願いします。参考までに、昭和六十二年度県総合防災訓練の新居会場における生徒参加の訓練の例をあげてみました。

■中・高生が参加した訓練内容例(新居会場)

吹き出し訓練	●自動炊飯機(2台) ●大なべ(2台) ●シネリン(8)	●ご飯をつくる ●カレーをつくる ●お茶を沸かす。 ※お茶は小さくしん漬け、梅干し、たくあん、鰹魚
麻袋消火訓練	●水袋による消火	●麻袋を30枚並べ火を着け水袋で消火 ●女性自主防委員
火災消火訓練	●いげたに組んだ物、円柱型の物を燃やし消火する。	●消火器を使用した消火訓練 ●いげた、5カ所 ●円柱、3カ所
テンプラ火災消火訓練	●ドラムカンに水を入れカブリンを投入し着火し濡れ布で窒息消火する。	●テンプラ火災の消火方法として濡れ布を使った消火方法を実践する。 ●ドラムカン 3カ所
建物火災脱出訓練	①濡れ布をかぶつての脱出訓練 ②ビニール袋をかぶつての煙中脱出訓練	●壁の両方が燃えている場合の脱出を実践する。 ●4m 4m 延焼空間 計12mの廊下 幅2m~3m ●開口2m、長さ10mのビニールハウスの中に煙を完満させ、その中にビニール袋を頭部からかぶり煙中を脱出する。
救急救護訓練	●応急救護方法の取得	●救護の基本を消防署職員から指導を受ける。 ●簡易タンカを作つてのケガ人の搬送をする。

被災直後の生活を

体験してみました



清水市船越東町自主防災会
自主防災会会長 徳田 権作

私たちの船越東町自主防災会
は、昨年十二月四日の地域防災
訓練を、今までのような会場型
の炊き出し訓練でなく、被災直
後の生活を体験してみようと、
少人数のグループでこれを試し

てみました。
突発地震で電気や都市ガス、
水道などのライフラインが大被
害を受けたことを想定した訓練
です。
まず町内全世帯を隣組単位の

家の中の災害を無くそう

津波や崖崩れの被害が予想さ
れる地区はもちろん、耐震診断
で結果の悪い家の人々は、自主
防災組織の防災計画の中で安全
な場合へ避難をする事になりま
す。しかし、全部の家が全壊し
てしまうとは限りません。そこ
で、少しでも被害を少なくする
ように、二次災害を起こさない
ように、家具の固定や出火防止
等の防災対策が必要です。

倒れた家具に押えられたり、
散乱したガラスや瀬戸物の破片
で手足を切ったり、火を消そう
として油や熱湯で大やけどをし
てしまったり、多くの人が思わ
ぬ所で思わぬけがをしました。

うち前述のような家の中でけが
をした人は七三・四％。残りの
二六・六％の人たちは解やガラ
ス、または転んだり、落ちて来た
瓦など屋外だけがしています。
この地震の二倍以上の規模の
地震が、昭和十一年に同じ震源
で起こっていますが、小被害で
すんでいます。

最近の家庭は、家具や道具が
増えて便利になりました。しか
し、豊かで便利になっただけ
で、



推進委員
杉山 好

飲料水の人ったポリタンク、米
野菜、漬物、鍋に釜、飯ごう、
七輪に炭、まき用カマドにまき、
カセットコンロにボンベ、固型
燃料、みそにしょうゆ、茶わん
に湯のみとハンシなど、思い思い
の道具や燃料が空地に持ち込ま
れ、原始時代に戻ったような生
活が始まりました。

お年寄りも子供も若い人も力
を合せて炊事の仕度にかかり
一時間ほどで町内二百世帯分の

十五グループに分け、会場はそ
れぞれの隣組の近くの空地等を
利用しました(火災予防のため
各会場に消火器と防災役員を配
置)。各家庭では①自分の家族の
食事は自分でつくる。しかも家
の中でなく外に出てつくる。②
電気もガスも水道も使わずに炊
事する。③自分の持つてきた水
や材料は他人と貸し借りしない。
④などが決められていました。

それは自分の備蓄量が適切だっ
たか不足だったかを判断するた
めと、足りないものに自分で気
付くことが訓練の狙いでもあり
ました。
みんなが持ち寄ったものは、
飲料水の人ったポリタンク、米
野菜、漬物、鍋に釜、飯ごう、
七輪に炭、まき用カマドにまき、
カセットコンロにボンベ、固型
燃料、みそにしょうゆ、茶わん
に湯のみとハンシなど、思い思い
の道具や燃料が空地に持ち込ま
れ、原始時代に戻ったような生
活が始まりました。

主婦だけでもやれば出来る!

馬走坂の上自主防災会自主防災係 福島 朝江

私たちの町は清水の町並みを
眼下に展望できる景勝の地であ
りますが、その反面、急な坂と
断崖に挟まれており、大きな地
震に見舞われれば被害は一段と
大きくなるのではないかと心配
されます。

地震はいつ、どんな時に起こ
るか分かりません。主人は職場
へ、子供は学校に行き、お年寄
りと幼児と主婦だけの昼日中
何の前触れもなく起こるかもし
れません。
危険な地域に住んでおりなが
ら、今までは、お年寄りや主婦
だけでは、防災訓練は出来な
いものと思っておりました。けれ
ども怖い地震の場合、その被害
を直接受けるのは、ここに住ん
でいる私たちだということに気
付き、自治会長の奥様をはじめ
町内役員の方々のご協力を得て
初めての防災訓練を昨年十二月
に行いました。



から主婦やお年寄りが参加され、
思ってもみなかった大成功の訓
練となりました。
県内には私たちの町のように
住はお年寄りや主婦だけのところ
もたくさんあると思いますが、
今回の訓練で、やれば出来る。
という自信ができました。これ
からも頑張ります。

リーダーは率先垂範を

黒田地区自主防災会を訪ねて

私が訪問した富士宮市黒田地
区は、J R身延線富士宮駅の南
側に広がる丘陵地帯にある景勝
地です。空気が澄んで快晴だっ
たため、裾野から頂上までの富
士の姿を車窓いっぱい眺める
ことができ、日本一の富士を見
た！と感動しました。
その自主防の会長は中野富
士郎さんで、区
長のほか地域の
要職をいくつも
兼ねられている
温厚な方でした。中野さんのお
話によると、黒田地区は、昔は
百戸あまりの農家が点在するの
どかな地域だったそうです。が、
昭和四十年ごろから急速に開発
が進んだそうです。そして現在
自主防への加入者は六百三十五
戸、しかし六十戸ほどが未加入
ということ、中野さんは「発

中野会長の好きな言葉として、
「やってみせて、いって聞かせ
て、させてみて、ほめてやらね
ば人は動かじ」(山本五十六)を
日常の活動の中で実行している
と語っておりました。そして、
「言わなければやらない、きつ
く言えば怒りを招く、理論だけ
ではだめ、ではどうしたらよい
か?会長が先頭
にたつてやる。
これしか打開
の道はない」と
断言されておりました。
私は言いたいことを言う時
代に、多くの人をまとめてきた
実績が言わせた言葉と受けとめ
自らの反省をこめてこの言葉を
聞いてまいりました。
(次号に続く)

推進委員
高野 邦雄

急救処置

骨折とその手当て

添え木が有効です

地震の際のケガにはいろいろありますが、あわてて逃げ出し転倒したり、家具の下敷きになって骨折することがあります。高齢者の場合には、わずかな段差を踏み外して転んだだけでもひどい骨折になってしまうこともあります。

△症状▽

骨折した場合は、その部分が変わる、形が変わる、皮膚の色が変わる、触れると激しく痛む等の症状が見られます。しかし骨折の直後には、これらの症状が出ないこともあります。

①患部にさわった場合激しく痛

む

②手足であれば動かすことができな

③ケガをした時に音がした

④固定した後に出血したり、は

⑤皮膚と副子の間にはタオル等

⑥皮膚の表面に傷があったり出

⑦本人の一番楽な姿勢をとり、

骨折部を安静にします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

①本人の一番楽な姿勢をとり、骨折部を安静にします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。

骨折している人をそのまま運搬すると骨折部を動揺させ、痛み・出血・はれ等の症状がさらに激しくなります。また、動揺で新たに傷がつくこともあります。これらのことを防ぐために骨折部位の固定をします。



木村 文一
下田市大和区自主防
災会長



北川 正枝
島田市宮川町自主防
災会前婦人防災委員

新しい推進委員を紹介します

者対策に対しても視野の広い取り組みが期待されます。

昭和二十二年に消防団に加わり、二十年以上、下田市消防団団長を務めるなど防災活動で苦勞され、勲六等単光旭日章のほか消防庁長官、県消防協会、下田市長等から多くの表彰を受けています。

島田市は、自主防災組織の幅広い活動のために、婦人防災委員を委嘱しておりますが、その女性委員を務めた方です。

- 本年度も引き続き推進委員として頑張ります
- 徳田権作 (委員長)
- 清水市船越東町自主防災会会長
- 中嶋清治 (副委員長)
- 高野邦雄 (編集長)
- 高市市右坂二丁目自主防災会会長
- 大石勇輝 (副編集長)
- 焼津市船越十三丁目自主防災会会長
- 藤岡忠作

地震一口

自主防災組織とは

東海地震などの災害から生命財産を守るためには、県民一人ひとりが地震に備えて平素から十分な準備をしておくことが大切です。しかし、個人の力には

限界があつて、大きな災害に一人では立ち向かうことは困難です。危険な場合も多いでしょう。このような時、毎日顔を合わせ

ている隣近所の人達が協力し、助け合える組織があれば、きつと役立つはず。そういう組織が「自主防災組織」なのです。

県は自主防災推進委で同じ女性として活躍されている水野委員とのスクラムで、婦人の立場



- ② 副子(添え木)を当てて動かさないように固定します。
- ③ 固定した後に出血したり、はれたりするともありますので観察が必要です。
- ④ 骨折部が変形している場合は、元に戻さずそのままの形で固定します。
- ⑤ 皮膚と副子の間にはタオル等、軟らかい布を十分に入れます。
- ⑥ 皮膚の表面に傷があったり出血している時は、その手当てをしてから固定します。

固定ができたなら全身を毛布などに包んで保温し、医療機関に運びましょう。

(参考)「赤十字救急法教本」(推進委員 水野純子)

最近の地震活動状況

静岡県中部の地震空白域の発生



東海地震が予想される震源域(駿河湾から遠州灘にかけて)のうち、県中部地区を中心に地震活動が静穏化し、空白域が生まれているとの見解を地震予知連絡会の浅田会長が明らかにしました。

この前にも、今と同じような現象が見られた。震度6程度で直下型の地震が突然発生する可能性があるが、今後一、二年様子を

編集後記

平成元年度の第一号(通算第五号)の発行が遅れ、誠に申し訳ございません。

第五号から65万部発行

この新聞、前号までは各一万六千部を発行しておりましたが、意識啓発には不十分な数であるとの声がとりあげられ、今年度は毎号六十五万部の予算が

今年度、活動推進委員会に経験豊富なお二人の方が加わりました。委員会も一段と活発な活動が期待されます。皆様のご声援をお願いいたします。

自主防災

第 6 号

平成元年(1989)9月1日

編集・発行/静岡県自主防災組織活動推進委員会
発行所/〒420 静岡市追手町9-6
静岡県地震対策課内推進委員会事務局
☎0542-21-2456

不意の地震に日頃の用意

伊豆東方沖の地震が教えるべきだったもの



瞬間、家具が牙をむいた



群発地震から火山噴火へ
伊豆半島東方沖の群発地震は、7月9日午前11時9分、伊東市で震度5以上の激しい揺れを記録、家屋の損壊など大きな被害を出した。11日からは火山性微動が観測され始め、警戒を強めていた矢先の13日午後6時半ごろ、伊東市の北東3.2キロにある手石島付近で海底噴火が起き、伊東市民のキモを冷やした。

今回の伊豆半島東方沖の群発地震と、それに続く海底噴火は、自主防の立場から見て多くの問題点を浮き彫りにしました。

その一つは、家の中で本箱や戸棚などが倒れ、たぐさんの方々がケガをしたということです。このことは、昭和五十三年の宮城県沖地震の特徴だった「家財道具災害」を思い起こさせます。

ケガ人を出した今回の地震がもしも真夜中に起こったものだったら、家財道具災害は死者ともなう形で拡大しただろうと予測され、背筋が寒くなります。

さらに注目すべきことは、この家財道具災害によるケガ人の半数が、老人と幼児だったということです。これは、私達にこれから真剣に取り組むべき課題を示唆しているように思います。強い地震の揺れに対して弱者を守る対策の強化です。

私たち自主防災組織にかかわる者から見ると、家庭防災は自主防の原点であり、これが最重要の問題であると思えます。

「回ができる限り地震の予知を行います。予知をしたら内閣総理大臣が警戒宣言を出します」という予知が目指す理想はいろいろ考えられます。しかしつぎつぎとて考えますとケガをしないこと、死なないこと、ということに尽きるのではないのでしょうか。

私たちの住む木造住宅は耐震基準が厳しく、地震にはわりあい丈夫だと聞いています。しかし、狭い部屋にいっぱいの家財道具があれば、そして転倒防止策などを講じていなければ、地震の際それが凶器に早変わりします。家具類は地震で家の中を暴れ回わり、家の中にいる人を傷つけるということです。

私たちは今回の地震を教訓として、家具の転倒防止策や家庭内の安全場所の確保など、身近な対策をもう一度洗い直し、無防備の「裸の自主防」にならないよう努力を重ねていく必要があると思います。

静岡県自主防災組織活動推進委員会

伊豆沖の海底噴火災害体験記

伊東市の生活安全課に駐在して

七月十日から六日間、連絡員として伊東市へ派遣され、群発地震と連続性微動、そして噴火へとつながった一連の災害対策に従事し、たいへん貴重な体験

をしました。そのなかで特に印象に残った出来事の中で、二、三のことを紹介させていただきます。

一、微動始まる……庁内緊迫



七月十一日夜、市の生活安全課には四名の職員が当直番で残業していた。午後九時三十分、突然、揺れが始まる。建物か左右にゆっくり動いている。揺れは止まらず時々床から「トン、トン」という突きあげるような振動音が伝わる。課の壁に取り付けてある加速度表示計には震度が出ていない。「何だろ」と不安になる。揺れはさらに続き、始まってからすでに十五分を経過している。一瞬、不吉な予感が頭の中を通り抜ける。

この頃から一斉に電話が鳴りだした。市民からの問い合わせの殺到だ。理由が分からないため、我々の回答は「理由は不明、調査中です」今後、地震に十分注意をお願いします」と答えるのが精一杯。まったく情ない。県へ気象庁よりの情報が入っていないかを問い合わせる。気象庁で午後十時に発表を行う。その内容によつては対応の必要が生ずる、どのような対応できるように、との回答を得る。次々に連絡を取り始める。

約十分で課の職員が集まった。非常に早い。ただ、みんな興奮している。当然、私も何から手を打てば良いのやら……。数分もたったか、多くの報道記者が繰り込んで来た。室内が騒然となり、幹部から職員に激が飛ぶ。落ち着いて職務を行え、「マスコミは室外へ出るように」。幹部の指示がとび交



う。広報職員の招集、広報車の配置、消防・警察への連絡、海面監視パトロール等……。

これが何が起きるのか？ 気象庁から何が発表されるのか？ 不安感が高まり、騒然とした空気が広がる中で、テキパキと指示が相次ぐ。

午後十時すぎ、火山性微動が始まったので注意を要する」との発表が行われ状況の判断がついたが、すでにこの時、一部住民は避難を始めていた。

翌朝、前後の市民や自分たちが、広報職員の招集、広報車の配置、消防・警察への連絡、海面監視パトロール等……。



報道のカメラマンが、「あれは水蒸気だ」と言う。

急いでホットラインで県へ報告。受話器を取った者が「こっちでも見える」と応じる。そんなバカな！ 実情は、テレビで中継の最中に噴火したとのこと。

この日の市の対応は実面的確だったと思う。職員は落ち着いており(当然私も)、前々日の対応が予行演習となつて実を結んだのではないかと思われるほどだった。ただ心配な点として①再噴火はあるのか。②津波は起きないか。その時、

避難はどうしたらいいのか。など、さし迫った問題がクローズアップしてきた。

市は状況を見ながら避難勧告等を出すことになった。しかし、噴火やそれに伴う津波という自然現象に対する避難の判断は、地方自治体の長にとつて大変難しいことと思う。今後、学識経験者や防災の専門家で構成され

たチームの派遣を求めて、市長へ助言をしてもらうことが必要かと思われた。

現在、伊東市ではまだ微動が続いている。連絡員として現地での体験を通して、一番思うことは、「自分のことは自分で守る」という使いふるした言葉である。

(七月十八日)

県地震対策課職員(下)

“防災の日”を前に家族で点検しましょう!

家庭の防災点検表 (家族話し合い用)

話し合いの内容	話し合いの結果	
みんなで、考えよう		
家族の役割分担は決めているか	はい	いいえ
避難先、避難方法は決めているか	はい	いいえ
家族の連絡方法は決めているか	はい	いいえ
家族の落ち合う場所は決めているか	はい	いいえ
わが身を、守ろう		
家の耐震診断はしたか	はい	いいえ
家の周りの安全点検はしたか	はい	いいえ
家具の固定はしてあるか	はい	いいえ
家の中に、安全な場所はあるか	はい	いいえ
火は出さない		
ガスを使用しないときは、元栓を閉めているか	はい	いいえ
火気器具の周りは、整理しているか	はい	いいえ
ガスボンベは、倒れないようにしてあるか	はい	いいえ
消火は、よいか		
消火器や消火/ケツは用意してあるか	はい	いいえ
消火器の定期点検はしているか	はい	いいえ
風呂に水は溜めているか	はい	いいえ
食料、飲料水は、どうか		
非常持ち出し品は、準備してあるか	はい	いいえ
非常持ち出し品は、定期点検をしているか	はい	いいえ
非常持ち出し品は、重要にも注意しているか	はい	いいえ
食料は、備蓄しているか	はい	いいえ
飲料水は、備蓄しているか	はい	いいえ

※地震災害を最小限に防ぐには、家庭での出火防止や家具の固定等の安全対策を、日頃からしっかり行っておくことが大切です。このことを、家族そろって、話し合しましょう。

見直そう、暮らしと命を守る水



面倒がらずに水の備蓄を

推進委員長 徳田権作

災害時に欠かすことのできない水の備蓄については、ふだんから各家庭できちんと考えておかなければなりません。

やけどやケガの手当てにはキレイな水が必要とし、のどの渴きにも水、ご飯を炊くにも水、おかずもお茶にも水、インスタント食品を食べるにも水、赤ちゃんのミルクにも水、食器を洗う水からトイレの水まで、水は生活に欠かすことのできないものだからです。地震で送水管が壊れたら給水車も走れない時

のことを考えると、自分の家のためにある水だけが頼りです。昨年十二月に船越東町で行った、グループによる野外炊事訓練では、参加者たちは一回の炊飯で一人平均五リットルの水をためておかないと安心できないことを学びました。

昭和五十三年の宮城県沖地震の際、仙台市では電気・ガス・水道が同時にストップし、市民の大半が長期にわたって「ご飯も炊けない」という不便な生活を体験しました。

ところで東海地震の警戒宣言が発令された場合、各家庭が飲み水や防火用の水を確保しようと、一斉に水道の蛇口をひねったとしたら、水道はたちまちパニック状態になってしまうのではないのでしょうか。

清水市の船越東町自主防災会（二〇〇世帯）が昭和五十八年に実施した訓練結果によりますと、町内の全戸が一斉に蛇口を開けると水圧が大きく低下、平常時より「二〇％～五〇％」水の出が悪くなり、ところによ

て面倒なため、水の大切さは分かっていても、備蓄量が少ないという不本意な結果が出ているのも現実です。

しかし、このように面倒がら

れている水の交換作業も、「図」のような方式で行えば、簡単に交換ができて手間もかかりません。一リットルでも多くの水をためておくことが家庭防災の基本であり、暮らしと命を守るのだということを実感してほしいものです。

この方式は、自動的に底の水が流れ、いつもきれいな水が確保できるようになっているところがミソです。また、水槽や浴槽の水は地震の揺れで外にびりびり出るので、蓋をするなど、イザという時、水パニックを起こさないよう、ふだんから準備しておく必要があります。

地震の思い出

今年、自主防災会長に任命されましたが、予想される東海地震が発生したときのことを想像すると、責任の重大さを痛感いたします。それと同時に、二十五年前の新潟地震の激しい揺れを群馬で体験したことを思い出さずにはいられません。

当時、私は観光バスの運転士をしていました。観光ドライブには、晴れ間の多いままあの日のでした。平塚市の青年団四十人乗せて水上温泉へ向かう楽しい旅でした。途中、沼田のドライブインで小休止をする事になっており、トイレに近い場所にバスを停車させました。お客が賑やかに降り終わると

防災訓練も決まりきった形になりがちですが、黒田地区では消火訓練にいろいろ工夫をこらしている様子が見られます。

この地域の状況から判断して、大きな地震に襲われた場合、火災を出さないことを最大のポイントとしており、消火訓練に

黒田地区自主防災会を訪ねて

推進委員 高野邦雄

は、なかなか力を入れているようです。その一つとして、婦女子でもポンプ操作、なかでも力を必要とするポンプ起動ができるようにするための、自転車のごムチューブを使つてのユニークなポンプ起動訓練が続いているとのことでした。この訓練が実際の火災発生時に役立つことなどもあり、今後も訓練のなか

に積極的にとり入れていく方針だそうですが、黒田地区では、また、誰でもできる窒息消火訓練については、地域の全員が身体で覚えるまでの訓練を、と目指していました。

前号冒頭に記しましたように、黒田地区はのどかな丘陵地帯にあり、ここに住む人たちの間に

協力・指導については、職員の数が少ないことなどから、十分なものとはいえないように感じられました。

このことは、黒田地区だけの問題ではなく、多くの地域でも同じ問題を抱えていると言えます。自主防災会活動推進委員会は現在、この自治体しようかと腐心しており、自治体の奮起を願う一方、指導を受け入れる自主防災組織の充実を図っていくかなければならないと考えております。

中野会長さんは、お話の中で「防災活動のマンネリ化を防ぎ、常に新しい感覚で防災会を運営するには、先頭に立つ役員の防災にとり組む熱意に期待したい」と指摘されていますが、この言葉を深くかみしめながら取材を終わりました。

間もなく、自動車が揺れだしました。青年団の中にはかなり酔っている者もおりましたので、「酔って元気のいいのが自動車を揺すっているな」と思いました。しかし、外の方を見るとドライブインの屋根も地面も波を打っており、揺れもひどくなっていました。

「地震だ」と、車から降りた青年団の人たちは、地面に手を置いて四つんばいになって青くなっています。

その時でした。トイレの方から「助けて」と悲鳴が聞こえてきました。すぐに私の車のバスガイドの声と分かりました。すぐに行つてやらなければと、揺れの中で降りることができませんでした。しかし、車から手が離れた途端、座り込んでしま



まいりました。悲鳴は近くから聞こえてきますが、行くことができません。長い時間を感じました。ようやく揺れがおさまり、トイレへ転がるようにとんで行きました。トイレの戸はいびつになつていたので、力一杯引つ

まいました。悲鳴は近くから聞こえてきますが、行くことができません。長い時間を感じました。ようやく揺れがおさまり、トイレへ転がるようにとんで行きました。トイレの戸はいびつになつていたので、力一杯引つ

張つてやっと開けることができ

ました。ガイドさんは青い顔を

して泣きながら出てきました。

しばらくして、ラジオで新潟に地震のあったことを知りました。空には、報道関係が自衛隊のものか分かりませんでした。がヘリコプターが、道路には自

南隊の車両が新潟方面に向かつてあわただしく走つて行くのが見られ、出発を大分遅らせなければならなかったことや、当時の恐怖をはっきり思い出すことができます。その夜の話題は地震で持ち切りだったことは言うまでもありません。

地震が起こった場所から相当離れていた群馬の沼田で、立っていることも動くこともできなかったことや、その時感じた恐怖などから考えると、私たちが住む近くで発生が予想される東海地震は、あの時の新潟地震の何倍も大きな地震だと思えます。それだけに、防災対策の充実と、一致協力態勢の推進に頑張らなくては、真剣に取り組まなくてはと思っています。

裾野市平松東町自主防災会長 斎藤和夫

救急処置

頭のケガとその手当て

早めに診察を

地震による大きな揺れで、
①家具や道路標識やブロック塀が倒れてきた
②家具が倒れた
③棚の上のものが落ちてきた
④避難の際に転倒した
⑤ショックで意識を失った

意識がはっきりしてきても、
頭をなるべく動かさないように
します。嘔吐がある時は、そつ
と顔を横向きにして、吐物で窒
息しないように気をつけましょ
う。やたらに呼んだり、揺り動
かしたりしてはいけません。



◎頭皮に傷のある場合

小さな傷でも、出血がひどく
見えますが、落ちていて手当て
をしましょう。傷に保護ガーゼ
(滅菌ガーゼ又は洗濯してアイ

すぐに立たせたり、歩かせたり
しないで、水平に寝かせておき
ましょう。
◎頭にこぶができた場合
濡れタオル、または水をビ

訓練は何のため？ 誰のため？

9月1日は防災の日です

私たちは、自然災害に限らず、
種々の事故で肉親を失ったり、
災害を受けたりすると、どうし
て自分が、自分たちだけがこん
なひどい目にあわなければなら
ないのか、と思うものです。

ほんのちよつとした不注意で
も、ふだんはなんでもないこと
が、緊張の続く災害現場に在
ると、混乱の原因になります。

異常、非常の時には、お互い
に信頼し協力しあうべきであ
り、ひとりよがりな自己主張に
走ると、これによる被害は計り
知れません。

災害が報じられると「教訓」
が叫ばれます。「教訓に学ぶ」と

ニール袋に入れ、タオルに包ん
だもので冷やして様子をみま
しょう。

◎次のような場合には大至急医
師の診察が必要です。

・意識がはっきりしない
・けいれん、手足のまひ、嘔吐
・目や鼻からの出血
・視力、瞳孔の異常
・呼吸の異常等がある場合
・吐けしないので水平に寝かせ、
頭をなるべく動かさないよう
にします。嘔吐がある時は、そつ
と顔を横向きにして、吐物で窒
息しないように気をつけましょ
う。やたらに呼んだり、揺り動
かしたりしてはいけません。

頭のケガは、たいしたことが
ないように見えても、後で頭蓋
内出血等を起こして致命的にな
ることもあるので、医師の診察
を受けましょう。
(参考) 赤十字救急法教本)

推進委員 永野純子

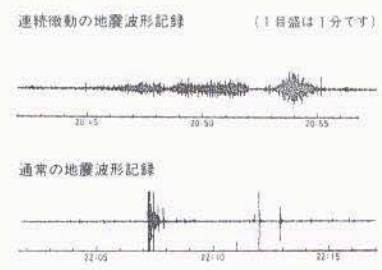
地震 基礎知識

伊豆東方沖の群発地震と火山活動

六月三十日より始まった伊豆
半島東方沖群発地震は、昨年の
発生域より北西に寄り、過去の
活動を含めて最も陸地に近い部
分で発生、さらに震源の深さも
五十キロと極めて浅いという
特徴が見られた。



そして、七月九日午前十一時
九分のM5.5を最大に、活動
が低下の傾向を示した。しかし
十一日の午後八時頃から、今回
の群発地震では初めて火山性微
動が観測された。その後、十一
日午後九時、十二日の午前九時
ごろに大振幅の微動があった
が、その後は再び地震活動と微
動ともに低調化し、十三日午
後六時三十三分、突然の噴火に
至った。この一帯は、伊豆半島
東方半成火山群であり、わが国
でも特徴的な火山活動を示して
きた地域である。



◎群発地震とは
狭い地域に多数の地震が発生
する。特に目立つ大きな地震は
なく、ある期間で終息に向かう
地下の岩石が破砕された不均一

編集後記

六月三十日から活動を始めた
伊豆半島東方沖群発地震は、七
月十三日夕刻、マグマの海底噴
火という事態となりました。こ
の様子を目撃した地元の方々
の恐怖は、想像を超えたものだ
たらうとご同感申し上げます。
私たち自主防災会活動推進委
員は、震源地の皆さまが、ま
た自主防災会が今回の災害に対
してどのような対応をしたか、ふ
だんの訓練など防災学習に落
し穴はなかったか、等を調査
しようとして、伊東市を訪問
することにしております。

しかし突然、火山噴火の様相
になってきたため、急ぎよ訪問
を中止いたしました。今後、事
情がゆるせば早急に訪問調査
し、皆さまに報告をしたいと思
えております。

ところで、前号でお知らせい
な構造の地帯に起こりやすいと
考えられている。岩石破壊で発
生する地震のため、波形は揺れ
の始まりが急激ですぐにおさま
るといふ特徴を持つ。

◎火山性微動とは
地下のマグマが徐々に移動し
たり、地下の割れ目に大量に流
れ込んだりして発生するもの
で、ゆつくりとした揺れが長時
間持続する。波形の特徴は揺れ
の始まりが明瞭でなく、いつま
でも連続してゆらゆらと続く。

伊豆半島東部および東方海域
には、約百個の単成火山があり、
いずれも今から数万年ないし二
千年ほど前までの期間にわたつて
活動した。このうち約七十個は
陸地に、三十個ほどが海の中に
分布している。

県地震対策課

たしましたが、本年度発行する
「自主防災」新聞は、「家庭の地
震対策」をテーマに編集するこ
とになっていきます。この「自主
防災」が県民に愛され、必要な
新聞として活用されるために
は、紙面の一層の充実を図って
いかなくてはなりません。

そこでこの度、「私たちの自主
防災」というテーマで、広く
皆さまから原稿を募集するこ
とにいたしました(募集要項)参
照。

「自主防災」は、前号からカラ
化されました。編集員一同、皆
さまの反応を大変気にしていま
す。廿日辛日どちらでも結構で
す。皆さまの率直なご意見をお
聞かせ願えれば幸いです。

編集長 高野邦雄
次回の発行は十二月一日
の子定です。

募集 あなたの町の「自主防自慢」教をください。

みなさんの自主防活動を広く
紙面に紹介するために、今、私
たちの自主防自慢の原稿を募
集しております。写真も原稿に添
えてお送りください。

また、訓練・催事などの情報
を提供して下さっても結構で
す。こちらから取材に参ります。
みなさんも積極的に、この自主
防新聞へ参加してみてください

- 平成元年度総合防災訓練重点項目
- 1 高校生、中学生の訓練
下校訓練のほか、地域の一員として自
主防災組織が実施する訓練に参加し、初
期消火、応急救護等の訓練を実施(訓練
種目……「第5号」参照)
 - 2 災害弱者の安全確保、避難誘導訓練
津波・山岸前危険予想区域に住む災
害弱者の安全確保、避難体制の強化を図
るための搬送訓練等を実施
 - 3 市街地における混乱防止等訓練
不特定多数の者が集まり、発見時に心
理的不安を誘発しやすい場所(地下街、
繁華街等)における混乱防止等訓練
(静岡市、浜松市等8市)
 - 4 家庭内訓練の徹底
各家庭で本紙第2面「点検表」で確認
し、市町村は広報に努め、家庭内の安全
確保の徹底
 - 5 会場訓練の実施
岡、駿、富士市、自主防災組織および
防災関係機関が一体となって、富士市五
百島地区の富士川緑地公園で実施
※警戒宣言発令、午前8時50分頃

なお原稿は、紙面の都合上、
町九一六〇五四二〇三四五六
会事務局 千四二〇静岡市追手
町九一六〇五四二〇三四五六

